

Yawaragi

Gakushuin Women's College

VOL.27
2024年度



2025年3月

Yawaragi

学習院女子大学だより

やわらぎ

第27号

2024年度

Contents

- P. 2 目次
- P. 3 学長挨拶
- P. 4 学習院女子大学シンポジウム：海とその環境を感じるシンポジウム
- P. 5 学習院女子大学シンポジウム：食とその環境を感じるシンポジウム
- P. 6 ワシントンセミナー：世界の中枢でトップリーダーと語る
- P. 7 考古学フィールドワーク
- P. 8 令和6年度 特別授業の紹介
- P. 10 シェイクスピア劇『ロミオとジュリエット』学習院女子大学公演について
- P. 11 国際学研究所 (GIIS) だより
- P. 12 学習院女子大学学会 2024年6月6日開催学会講演会より
- P. 14 留学生報告
- P. 15 海外留学報告
- P. 16 2024国際交流推進センター行事報告
- P. 17 留学制度について
- P. 18 輔仁会団体紹介
- P. 19 輔仁会団体紹介／雅祭を終えて
- P. 20 「和祭」を振り返って
- P. 21 学習院女子大学の就職力
- P. 22 キャリア・就職支援について
- P. 23 内定者からの声
- P. 24 新任専任教員紹介
- P. 25 新任専任教員紹介／客員研究員受入
- P. 26 学習院女子大学教員紹介
- P. 27 専任教員著書紹介
- P. 28 図書館からのお知らせ
- P. 29 保健室／C.A.T.ルームのご案内
- P. 30 学習院女子大学データ／令和7年度学年暦
- P. 31 学習院父母会の近況報告
- P. 32 草上会について
- P. 34 Topics 2024



学長挨拶

学習院女子大学長 大桃 敏行

今年度で四年間の学長の任期が終了します。学長挨拶も最後になりますので、これまでの取り組みについて記すことにいたします。学長としての通常業務、食事に譬えれば定食に加えて、特別メニューの多い四年間でした。

新型コロナ対応と 新中期計画の策定

学長就任にあたり、新型コロナウイルス感染症への対応が前学長からの引き続きの課題でした。前年に入学式を行えなかった二年生を四月一日と五日に「新二年生を

キャンパスに迎える会」を、四月四日には新一年生に入学式を、それぞれ感染防止に努めながら開催しました。授業も対面授業の早期の全面的な再開をめざしましたが、緊急事態宣言の発令などで遅れ、再開後も感染を防ぐための様々な措置を行い、学生の皆さんには不自由をお掛けしました。

この感染症対応とともに、就任にあつての大きな課題が次期中期計画の策定でした。六ヶ年の計画で、終年が学習院創立百五十周年にあたります。計画の策定では先生方や各部署などからアイデアを出していただき、「グローバルで多様性に開かれた学びの空間の構築」として全体をまとめました。計画は多岐にわたりますが、たとえば多くのシンポジウムを開催し、その成果を著書の出版や新しい授業の開設などになげতেಿದೆいます。

入試対応と カリキュラム改革

コロナ禍の影響は国際系学部に逆風となつて顕れ、少子化の急激な進行と相俟って、本学の志願者も減少しました。急ぎの対応が必要となり、入試改革や新たな予約型給付

奨学金の導入、高大連携の推進、広報でのSNSを用いた情報発信の拡充、高等学校訪問などとともに、カリキュラム改革に取り組みました。本誌第二五号で紹介した「学習院女子大学の教育 次のステージへ」と題するものです。

この改革は本学創設から四半世紀を経るなかでのかなり規模の大きなカリキュラムの見直しとなり、データサイエンス教育プログラムの導入、多文化学際科目群の設置、学術的リサーチと職業選択をつなげる探究科目の新設などを含むものでした。探究の授業では各方面で活躍されている卒業生の皆さんにも協力をいただき、本学での学びが卒業後の仕事にどうつながっているのかをお話しいただいています。

学習院大学との 統合に向けて

学長としての後半の二年間は、学習院大学との統合に向けた準備にあたつてきました。令和五年七月の法人による統合計画の公表とあわせて、四回にわたって説明会を開催しました。緊張感をもつての説明会でした。その年の秋には、統合に伴う学習院大学への転学の説明会

も三回実施しました。統合には様々な調整や多くの書類の作成が必要であり、教職員一丸となって取り組んでいます。統合は早くして令和八年四月になります。学習院女子大学が大切に培ってきたものを次につなぐとともに、統合によって新たな発展を遂げていくことを願います。私は学長の任期の満了とともに停年退職を迎えます。楽しく有意義な時間を共有させていただいた学生の皆さんに、そしてこれまで支えていただいたすべての皆様に感謝を申し上げて、お別れの挨拶といたします。



学習院女子大学シンポジウム

海とその環境を感じるシンポジウム

国際コミュニケーション学科 教授 熊谷 英憲

2024年7月7日(日)に本学やわらぎホールほか2号館を会場に「海とその環境を感じるシンポジウム」を開催いたしました。地球環境の激変が懸念される中、海の役割に関心が集まり、海の教育の重要性も指摘される昨今ですが、「海」に関わることでさまざまな学びの機会、知恵や伝統に培われた奥深さを感じる機会が忘れられているようにも感じます。そこで、「海を感じる教育」から「海を意識する教育」をめざして当シンポジウムを企画いたしました。

海洋生物の研究者であり、野生動物の生態と生息環境について数多くの番組を監修、世界的な写真家としても著名な藤原幸一氏に冒頭で基調講演を頂戴したのち、6会場3つのコースに分かれたワークショップを実施しました。基調講演からワークショップへの橋渡しは、本学環境教育センター所長の品川明が務め、最後にワークショップでの気づきを共有しフロアとの対話を含めたパネルディスカッションを行いました。

海洋生物の研究者としても多くのご業績をお持ちの藤原氏は、貴重な映像の数々をご披露くださり、海洋環境、なかでも生物多様性の高い珊瑚礁と南氷洋のすばらしい実態に触れることができました。一方、痛ましい海洋汚染の状況も目の当たりにしました。

ワークショップは海を感じるワークを主体とした6会場を2つずつA～C3つのコースにまとめ、昼食をはさんで各コース内の2会場を入れ替えて、2つのワークを体験いただくように計画しました。Aコースは「海と資源」と題し、本学国際コミュニケーション学科教授の熊谷英憲が「海を使う」として空間としての海洋の役割と資源採取の可能性を、また、東京海洋大学海洋生物科学部准教授

の牧田寛子氏は「海中海底の環境と生物」と題し、深海調査の映像を紹介、ワークとして店頭に並ぶ際には取り除かれてしまっているプランクトン類を選別前のちりめんから探す体験を実施しました。Bコースは「海の生き物」と題し、本学日本文化学科教授の品川明が「甲殻類の不思議」、東京都立大島海洋国際高等学校教諭の橋本啓吾氏が「メスもハサミも使わない煮干しの解剖」の2講座を実施し、エビや煮干しの観察に海を感じながら手を動かししました。Cコースは海の今昔と題し、本学日本文化学科教授の工藤雄一郎が「縄文人のアクセサリー 貝の腕輪を作ろう」と題しベンケイガイの貝殻を使って腕輪の製作を、海・川のビジターセンター所長の平井和也氏が「サンゴのテリトリーウォーズ」と題して、4種類のサンゴの縄張り争いをカードゲームで学ぶコースを実施しました。なかでも、貝の腕輪づくりでは3つ4つと作って満面の笑みを浮かべる参加者の姿が目立ちました。

パネルディスカッションでは、それぞれのワークショップでの気づきを共有していきました。例えば、海は繋がっているのに、なかなか触れる機会がないことも多く、知られていないうちに変わっていってしまうことへの驚きや、将来にわたって楽しい海があり続けるために、想像する力が必要である、といった指摘がありました。加えて、一人一人の関心と努力の積み重ねをもとに、知らないうちに動いている社会の仕組みに目を向けること、その変革も必要なのではないか、という指摘もありました。

当日は150人をこえる来場をいただき、パネルディスカッションでもフロアから多数のご意見を頂戴することができ、大変充実したシンポジウムとなりました。



学習院女子大学シンポジウム

食とその環境を感じるシンポジウム

日本文化学科 教授 品川 明

2024年11月24日(日)和食の日に、本学やわらぎホールや2号館、5号館を会場として「(和の)食とその環境を感じるシンポジウム」が開催されました。

和食文化の啓発を進め、和食がユネスコの世界無形文化遺産に登録されることが決まりました。その牽引役の一人でもある佐竹力總先生と本学教授品川明による基調講演の後、6会場に分かれて和の食に因んだワークショップが実施され、最後にワークショップの報告を含めたパネルディスカッションを行いました。

基調講演では、佐竹力總先生による「世界に誇る日本の食文化～和食(日本料理)は日本人のアイデンティティー」と題してお話がありました。経済は文化のしもべであり食文化や人類の未来食として和食こそがSDGsになっていること、また、「和食は四季を愛でる心 その時 その折」とのお話は、和食の原点を感じさせるものでした。

本学教授品川明は「食教育の大切さ～日本のこころと食」について、自分の味わう力を確かめるとともに五感力や味覚力を発展させ、食べ物の味わいかたやその背景、繋がり気づくことをテーマとしました。アーモンドを味わって多くの気づきを感じることができました。

食を感じるワークショップは、WS1(本学教授 品川明):味の感じ方～あなたは味をしっかりと感じていますかでは、味を感じる意味と味わうことの意味について実施しました。

WS2(表千家茶道教授 中澤宗寿氏):茶室から未来をデザインしませんかでは、お越し頂いたすべてのお客様にお菓子と薄茶を召し上がって頂きながら、小さな気づきから大きな共感まで一つ一つを大切に、これからの未来へ繋げ、世界へ活かしていくかを探りました。

WS3(善寶寺維那/地藏院住職 篠崎英治氏):静かにいただく では禅の食事作法には、古来の食事を大切に

する仏教の重要な修行として、食べる者の心構えとその作法があります。また、禅宗の作法にならい、静けさの中でお粥を頂いて、ともに精進することができました。

WS4(人気酒造代表取締役 遊佐勇人氏):日本酒の変遷とその味わいでは、世界無形文化遺産に登録された日本酒の製法や変遷の歴史について感じて頂きました。また、実際に多くの異なる日本酒を味わい、その違いとこれからの日本酒の未来も感じて頂けました。

WS5(日本スローフード協会理事 黒川陽子氏):幻の伝統野菜・雲仙こぶ高菜をテーマに生産性や経済性が過度に重視されている中で、生きた文化財といえる消えゆく食材を守るための想いを、古漬け、浅漬け、生葉の炒め物として食べ比べながら、未来を感じて貰いました。

WS6(東京聖栄大学教授 福留奈美氏):日本の発酵調味料と木桶・木樽文化の重要性は、気候風土に根ざした米・麦・豆の麴にあります。森林国日本ならではの木樽で醸造した個性あふれる醤油を各種味わいながら、それぞれの特徴や良さ、日本の食文化を味わいました。

パネルディスカッションでは、各ワークショップの報告と和の食を感じるための提案を頂きました。当日は160名を超える来場を頂き、フロアからも多数のご意見や感想を頂戴することができ、大変充実したシンポジウムとなりました。

多くのご意見とご参加に感謝申し上げます。



ワシントンセミナー

世界の中枢でトップリーダーと語る

国際コミュニケーション学科
教授 島山圭一

学習院女子大学国際文化交流学部は、国際文化交流の担い手となる創造的リーダーの育成を目的に設立された学部です。そのため「伝統文化演習」「特別総合科目」「国際文化交流論」「国際文化交流演習」など、ほかに例を見ないプログラムが多く、「国際文化交流演習（ワシントンセミナー）」もその一つです。

これは、将来、国際協力や国際文化交流の実務に携わりたいと考えている学生や、アメリカの政治・経済・外交・文化等に関心を抱く学生を対象に、アメリカの首都ワシントンDCで行われる抜群の内実を誇る夏期集中研修です。9・11テロの翌年2002（平成14）年に始まり、2024（令和6）年で18回目を迎えました。

ワシントンDCは、世界の政治・外交・安全保障の中心であるとともに、国際協力・国際経済・文化交流の

世界的一大拠点です。国際機関としては、世界の開発援助を支える世界銀行や、国際通貨の安定を支える国際通貨基金（IMF）があり、また、世界最大の図書館である連邦議会図書館、世界最大の博物館群を運営するスミソニアン協会をはじめ、世界中の芸術家、科学者、研究者、その他の学術専門家が集う文化機関が集中しています。

8月後半の2週間、これらの国際機関・文化機関・連邦機関・州政府機関・歴史施設等を訪問し、毎日6～8時間、長官や理事を含む幹部職員の手導のもとに、国際協力や文化交流の実態に触れ、またアメリカの政治・文化の実情について理解を深めます。

なお、こうした重要機関の幹部職員が貴重な時間を割いて学生を指導することは極めて異例なことです。研修内容も非常に高度で

専門的なため、学生は6～8月に45時間を超える事前指導を受け、訪問先の情報を収集・整理し、十分な準備を整えて現地研修に臨み、帰国後は11月一杯まで事後研修としてレポートと報告書の作成を行います。

令和6年度の主な研修（講師）は、国務省東アジア太平洋局（局長、日本課長）、世界銀行（日本代表理事、人事局専門官）、国際通貨基金（日本代表理事、中南米

担当専門官）、スミソニアン協会・フリーア美術館（日本美術主任）、連邦議会図書館アジア部（日本課長）、メリーランド州議会（州政府立法局担当官）、在米日本国大使館（広報文化担当参事官）、日本国際協力機構（JICA）ワシントン事務所（次長）、宇宙航空研究開発機構（JAXA）米国事務所（所長、所長代理）、特別講義（元大統領特使・軍縮担当大使）などです。

現場で幹部職員から直接指導を

受け、ハードな研修をやり遂げた経験は、学生に揺るぎない自信を与え、これをきっかけに志を抱き精進を重ね、外交・安全保障・文化交流、国際協力の現場で、あるいは国内・海外の文化施設、研究機関、大学等で専門家として活躍しているOGも少なくありません。

この研修には、それまで潜在していた学生の真価を引き出す力が確にあるようです。



スミソニアン協会・フリーア美術館（収蔵室）



連邦議会図書館（アジア部日本課オフィス）



IMF（日本理事室・日本代表理事）



国務省中央玄関



JAXA 米国事務所（所長）



連邦議会図書館（中央閲覧室）



日本国大使館（広報文化担当参事官）



メリーランド州議会（上院議長）

考古学フィールドワーク

日本文化学科
教授 工藤雄一郎

過去の人々の活動痕跡が地中に

残されている場所を「遺跡」といいます。遺跡で発掘される「遺構」や「遺物」は、過去の人々の生活やその文化、環境との関わりを具体的に示す重要な資料で、これらを扱うのが考古学です。学習院女子大学では考古学関係の講義が充実しており、特に先史・古代の考古学を学ぶことがで

きます。

とはいえ、実際に遺跡を発掘したことがある人はとても少ないでしょう。発掘調査には座学では決して得られない多くの発見や学びがあります。そこで、発掘調査を経験できる機会を学習院女子大学でも作りたいと考えていました。遺跡をどのように発掘し、また記録していくのか、そこからどのように過去の文化や社会を紐解いていくのかを、自らの経験を通じて学んでほしいのです。

学習院女子大学では2023年度から、福島県猪苗代町に所在する桜川遺跡（縄文時代）の学術的発掘調査を開始しました。2024年度からは自然環境論Ⅴ（考古学フィールドワーク）として開講できるようになり、2024年9月5日～9日の5日間の集中講義に16名の受講生が参加しました（写真1）。発掘調査自体は集中講義後も継続して



写真1 桜川遺跡の発掘調査 後ろに見えるのが磐梯山



写真2 発掘調査参加者（2024年9月8日）
集中講義の受講生以外にも、工藤ゼミ生や他大学の学生も参加

9月13日まで実施し、他大学生も含めて合計30名近い学生が参加しました（写真2）。

桜川遺跡は猪苗代湖の近くにあり、磐梯山から伸びる丘陵縁辺部に立地する縄文時代前期（約6200年前）の集落遺跡です。現況は畑地で、耕作土を剥がすとすぐに縄文土器がたくさん出土し、石鏃などの石器も見つかります。発掘に初めて参加した学生たちは、最初は遺物が出土するののかも半信半疑でし



写真3 土器を発掘して喜ぶ受講生たち

たが、土器や石器を自らの手で発掘することに感動するとともに、教科書でみたような土器が実際に土の中からでてくることに不思議な感覚を持ったそうです（写真3）。こうした経験は重要です。考古資料から歴史を一つずつ紐解いていく面白さを実感するとともに、より広い視野で、より感性豊かなものにものを観察するきっかけにもなります。出土した遺物は厳密な位置や地層を記録しながら取り上げます。2024年度の調査では小型の住居状遺構や、5500年前頃に作られた落とし穴（イノシシやシカなどを捕らえるための罠）も見つかりました（写真4）。集中講義は来年度以降も行います。発掘調査を経験してみたい学生は「考古学フィールドワーク」を受講してみましょう（履修制限あり）。

一方、遺跡調査は発掘だけでは終わりません。出土した遺構や土器、石器の実測図を作成し、詳細な写真としても記録して、最終的に「遺跡発掘調査報告書」という冊子にまとめて公開し、文化財として広く共有することが求められます。そこで集中講義とは別に、「学習院女子大学考古学研究会」（任意団体）の学生が中心となつて、各年度の発掘調査概報の作成や、文化交流ギャラリーでの速報展示、遺跡発掘調査報告書の作成にむけた整理作業を行っています。こうした活動に興味がある学生はぜひお声がけください。



写真4 落とし穴の発掘の様子
深すぎて手が届かないため、地面に寝そべて作業しています

令和6年度 特別授業の紹介

日本文化学科

テーマ	講師名	職名	日時	時限	授業名	担当教員
心理学研究とは何か： 地域との協働を通じて見えてきたこと	大久保 智生	香川大学教育学部 准教授	令和6年10月25日	4限	日本文化基礎演習Ⅱ・ⅣR	澤田 匡人
食品添加物の役割と安全性	川岸 昇一	一般社団法人 日本食品添加物協会 常務理事	令和6年11月20日	4限	現代生活論Ⅰ (現代食品情報)	中野 美季

日本文化学科、国際コミュニケーション学科、英語コミュニケーション学科

テーマ	講師名	職名	日時	時限	授業名	担当教員
ワインの特徴と歴史	原口 真一	前日光市立足尾中学校 校長	令和6年11月28日	2限	比較文化論Ⅵ(嗜好)	品川 明

国際コミュニケーション学科

テーマ	講師名	職名	日時	時限	授業名	担当教員
ジェリコから見たイスラエル・パレスチナ関係	瀧本 めぐみ	聖心女子大学 非常勤講師	令和6年5月30日	3限	国際コミュニケーション演習ⅠA・ⅢA	ウーゴ ミズコ
近代日本とアメリカ移民 ―幕末から1945年まで―	鈴木 祥	外務省外交史料館 非常勤講師 (中央大学 兼任講師)	令和6年6月4日	2限	国際関係論Ⅲ(日米関係)	齋藤 洋子
西洋における二つの法文化の発達と伝播	松本 英実	青山学院大学 教授	令和6年6月19日	5限	ヨーロッパ文化論	正本 忍
「聖ジュリアン伝」の変遷： 中世から現代まで	大橋 絵理	長崎大学 教授	令和6年6月25日	5限	フランス文化論Ⅰ	正本 忍
多様な背景をもつ子どもたちへの教育保障 の理念と実態	後藤 武俊	東北大学大学院教育学研究科 准教授	令和6年9月5日	3限	国際コミュニケーション演習ⅢJ	大桃 敏行
日本の途上国への開発支援 ―アフガニスタンとアフリカを例に	稲葉 信子	筑波大学 名誉教授	令和6年10月31日	3限	国際コミュニケーション演習ⅡA・ⅣA	ウーゴ ミズコ
出版市場と出版流通 ～本と漫画の世界を旅しよう～	鮎川 尚史	株式会社ホーム社 (集英社グループ) 取締役	令和6年11月19日	4限	日本文化演習ⅡT・ⅣT、 国際コミュニケーション演習ⅡS・ⅣS	丸山 信人
3人の国王の母カトリーヌ・ド・メディシスの 書簡が語ること	小山 啓子	神戸大学 教授	令和6年11月19日	5限	フランス文化論Ⅱ	正本 忍
キムチづくり体験による 韓国食文化への理解	朴 賢子	韓国料理専門家	令和6年11月22日	4限	国際コミュニケーション演習ⅡK・ⅣK	羅 京洙
「少女を書く」ことについて	藤野 可織	小説家、同志社女子大学 非常勤講師	令和6年12月17日	5限	国際コミュニケーション基礎 演習ⅢL・ⅣL	澤田 知香子
魔女迫害とヨーロッパ社会	図師 宣忠	甲南大学 教授	令和6年12月18日	3限	国際コミュニケーション演習ⅡN・ⅣN	正本 忍
ウクライナとロシアは情報戦を どう戦っているか	樋口 敬祐	拓殖大学 非常勤講師	令和6年12月18日	4限	国際コミュニケーション演習ⅡR・ⅣR	石澤 靖治
沖縄戦を通じて考える平和構築	堀川 輝之	沖縄県南城市役所文化課市史 編纂室 会計年度任用職員 沖縄国際大学 非常勤講師	令和6年12月20日	4限	国際コミュニケーション演習ⅡM・ⅣM	櫻井 大三

国際文化交流研究科

テーマ	講師名	職名	日時	時限	授業名	担当教員
日本のポピュラーミュージックに対する 「ルーツ・ミュージック」の影響を探る	渡邊 優樹	作曲家	令和6年11月20日	2限	アートマネジメント 特殊研究	大野 はな恵
国際協力NGO ―NGOの開発アプローチ展望と課題―	赤井 朱	認定NPO法人 ラオスのこども	令和7年1月20日	13:15-15:00	国際開発協力演習	伊藤 由紀子

共通科目

テーマ	講師名	職名	日時	時限	授業名	担当教員
ブランコの来た道	寒川 恒夫	静岡産業大学スポーツ科学部 特任教授	令和6年5月30日	1限	社会環境論Ⅳ「遊びと祝祭」	橋本 彩
ヨガの世界観(呼吸を通して心身をつなぐ)	島村 朋子	tada.ima Yoga House 主宰 ヨガ講師	令和6年6月18日	2限	スポーツ・健康科学演習ⅠA 東洋の養生法(ヨガと呼吸法)	橋本 彩
懷石にみる日本の心と味	中澤 宗寿	表千家茶道 教授	令和6年6月28日	2限	生活文化演習Ⅱ(味わい教育)	品川 明
禅の食事作法	篠崎 英治	龍澤山善寶寺(曹洞宗) 広報主任・維那 地蔵院住職	令和6年7月5日	2限	生活文化演習Ⅱ(味わい教育)	品川 明
長崎県の漁業	竹下 千代太	株式会社天洋丸	令和6年8月25日	12:00-14:00	自然環境論Ⅱ (自然環境の保全)	品川 明
長崎県外海地区の潜伏キリシタンについて	日宇 スギノ	フェルム・ド・外海	令和6年8月26日	15:00-17:00	自然環境論Ⅱ (自然環境の保全)	品川 明
長崎県の郷土料理	黒川 陽子	有限会社陽久	令和6年8月28日	12:00-15:00	自然環境論Ⅱ (自然環境の保全)	品川 明
探求調査のための調査法・基礎講座	酒井 信一郎	立教大学社会学部 メディア社会学科 兼任講師	令和6年11月8日	5限	インディペンデント・スタディ (課題研究)	木村 直恵
インクルーシブスポーツ:ゴールボール体験	高田 朋枝	元ゴールボール日本代表選手	令和6年11月12日	2限	スポーツ・健康科学演習ⅡA (ニュースポーツ・インクルーシブスポーツ)	橋本 彩
女性のライフステージとウェルビーイング	寺田 静	参議院議員	令和6年11月21日	1限	生活環境論Ⅱ(ウェルネス論)	橋本 彩
西洋近代と奴隷	鈴木 英明	国立民族学博物館 准教授	令和6年12月4日	5限	西洋近代史概論	正本 忍

学芸員課程

テーマ	講師名	職名	日時	時限	授業名	担当教員
ミュゼオグラフィとしての図書展示の ありかたについて	篠木 由喜	公益財団法人東洋文庫 研究員・学芸員	令和6年6月8日	14:00-17:00	博物館実習ⅠA	牧野 元紀

教職課程

テーマ	講師名	職名	日時	時限	授業名	担当教員
教育実習の実際	飛田 健次	学習院女子中・高等科 教諭	令和6年4月20日	4限	教育実習Ⅰ	澤田 匡人
青年期のアイデンティティ発達に纏る諸問題:学校不適応を中心に	畑野 快	大阪公立大学国際基幹教育機構 現代システム科学研究科 准教授	令和6年6月7日	4限	教育相談	澤田 匡人
学校の教師という仕事	塚本 桂子	新宿区立西早稲田中学校 校長	令和6年6月24日	5限	教職概論	高橋 望
教育評価と学習意欲	鈴木 雅之	横浜国立大学教育学部学校 教員養成課程学校教育 准教授	令和6年6月28日	5限	教育心理学	澤田 匡人
進路指導とキャリア教育	永作 稔	十文字学園女子大学 教育人文学部心理学科 教授	令和6年8月8日	5限	生徒・進路指導論	澤田 匡人
教師の職能成長と学校経営	冠木 健	一般財団法人学校教育研究所 業務執行理事	令和6年11月20日	5限	教職実践演習(中・高)	澤田 匡人
学校における教育課程の位置づけと展開	木村 裕	花園大学 教授	令和6年12月16日	5限	教育課程論	高橋 望

司書課程

テーマ	講師名	職名	日時	時限	授業名	担当教員
不動産業界における法改正以降の電子 契約をはじめとしたDX(デジタルトランス フォーメーション)の現状と今後の展望	武井 紀久	ココレア株式会社 代表取締役	令和7年1月20日	2限	図書館基礎特論	江藤 正己

シェイクスピア劇

『ロミオとジュリエット』 学習院女子大学公演について

公演担当 国際コミュニケーション学科教授 古庄 信

2024年5月25日、劇団Stage Play Japanによるシェイクスピア劇『ロミオとジュリエット』学習院女子大学公演が本学やわらぎホールにて行われました。

この劇団は東京在住の外国人俳優のグループで、一昨年、コロナ禍以後4年ぶりに再開された本学公演でもジュリエットを演じた女優パウラが代表を務める劇団です。今回は英米人の他、ドイツ人や日本人の俳優も登場する、まさに国際的な出演者による『ロミオとジュリエット』でした。また当日の来場者約300名の中には、ゲストとしてご招待した英国大使館の職員の方々も観劇され、役者たちの熱演にご満足の様子でした。

終演後、学生のための演劇ワークショップも開かれ、そこでは学生たちが舞台上がり、代わるがわるロミオやジュリエット

のセリフを俳優たちの前で朗読し、それに俳優たちがアドバイスをするなど、役者たちと学生の交流も行われました。ワークショップで特に注目を集めたのは、本学の1年生が、ジュリエットの14行にわたる長い英語のセリフ“O Romeo, Romeo, wherefore art thou Romeo?...”を美しい声でよどみなく暗唱してみせたことです。これには多くの来場者が胸を打たれたのではないのでしょうか。まさにドラマ以上にドラマチックな瞬間でした。

最後に、当日ご多忙の中、ご観劇いただいた大桃学長はじめ先生方、職員、学生、学外からご来場いただいた皆様方に、そして1日だけの劇場スタッフとして活躍してくれた学生たちにこの場を借りて厚くお礼申し上げます。来年2025年度の演目もすでに『オセロ』と決定しております。昨年見逃した皆さん、ぜひご覧いただきますよう、乞うご期待！



国際学研究所(GIIS)だより

国際学研究所所長、国際コミュニケーション学科教授 金野 純

当研究所は、本学の学部・大学院の教育理念の達成を図るために設けられた附置教育研究機関です。二〇一三年四月に組織された後、12年が経とうとしています。研究および活動分野は(1)国際文化交流、(2)国際問題、(3)比較文化、(4)アジア・太平洋研究、(5)外国における日本研究支援です。

当研究所は海外の研究機関との研究交流協定の締結を積極的におこなうと同時に、国際シンポジウム・研究集会・講演会・セミナー・展示等を開催し、多くの研究所叢書や英文ジャーナルを刊行することによって、学生や社会に開かれた研究の発信をおこなってきました。

今年度も当研究所は非常に活発な研究活動を展開しました。昨年度は国際関係にフォーカスした企画が中心だったこともあり、今年度は特に比較文化や海外の日本研究に焦点を当てた企画を中心にフォーラムやセミナーを開催しました。ここでその内容を振り返ってみたいと思います。

二〇二四年四月には、ジュネーブ大学文学部東アジア研究学科日本学専攻専任講師のルボフスキ伊藤綾先生をお迎えして「国際日本学の方法論としての『離見』——受容型から発信型の研究へ」と題した講演を行なっていただきました。



した。伊藤先生は、元々は欧州に留学してフランス文学や思想を学び、ヨーロッパ研究の分野で学位を取得した後、海外の日本研究の場に身を置くことになった方です。その伊藤先生による「日本の大学で外国語や外国文化を学ぶことにはどのような意味があるのか」についての考察は本学の学生たちにとって非常に意義深いものでありました。

そして五月には台湾の国立中正大学国際交流プロジェクト研究員の菅陽子先生による「海外および日本における日本語教育の現場報告」と題した講演会を開催しました。

台湾、中国、東京で実践された日本語教育の取り組みについてご紹介いただき、日本語教育に関するプログラムがある本学にとって有意義な講演となりました。六月には本研究所客員研究員の四方八重戸氏を講師とするセミナー「ジェンダー平等と女性のエンパワメントの推進」誰ひとり取り残さない社会の実現に向けた開発援助機関の役割を開催しました。ジェンダー平等と女性のエンパワメントは女子大学である本学の学生にとって興味深い内容であり、示唆に富んだセミナーとなりました。

さらに七月には国際フォーラム「日本研究の過去、現在、将来：国境を超えた研究とは何か？」を開催し、ブリティッシュ・コロンビア大学准教授のクリスティーナ・ラフィン先生にご講演いただきました。ラフィン先生は気候変動、戦争、災害、差別といった現実世界の諸問題と文学研究との関わり方について、ご自身のライフ・ヒストリーも交えながら語っていただきました。その熱量の多い語りには多くの学生が感銘を受けたようで、リアクション・ペーパーの内容

も充実したものが多く寄せられました。またコメンテーターをお願いした伊藤守幸先生(本学名誉教授)の補足的な説明も学生たちの理解を助ける素晴らしい内容でした。

このように国際学研究所では本年度も充実したセミナーやフォーラム等を開催してきました。今後と同様に積極的な研究活動を展開し、本学の研究を活性化したいと考えています。



『紫式部日記』の中の藤原道長

日本文化学科 准教授
春日 美穂



私の研究の専門分野は、『源氏物語』を中心とする平安文学です。2024年の大河ドラマが「光る君へ」だった影響もあり、現在、紫式部や『源氏物語』に関する研究は、今まで以上に活況を呈しています。そのなかでも、平安時代を代表する人物である藤原道長の最盛期と、最盛期を決定つけた藤原道長の孫であり、後の後一条天皇となる敦成親王誕生を記録している点、そして、『源氏物語』の作者及び、その執筆状況、受容状況の一端が明らかになるという点で、『紫式部日記』は大変貴重な作品です。



みると、和歌にたけ、文化的な世界を愛し、家族を愛し、栄華の絶頂で輝く姿であることが浮かび上がります。そして紫式部との親しさは示されつつも、巧妙に特別な関係を読み取らせないような描き方がなされています。

紫式部は、『紫式部日記』の中で

藤原道長の栄華を描きつつ、自己の憂愁をも描き込むという企みを行っています。そこには、それが受け入れられるという自負と、受け入れてくれるという道長への信頼があったのではないのでしょうか。その意味で、『紫式部日記』が描くのは、道長と紫式部との間にある確かな信頼関係です。

『紫式部日記』は何を記すかが明確に選別されています。現代を生きる私たちが、たとえばSNS上で必要なこと、ありたい自分を紡いでいることを考えれば、書くという営みの根源は千年のときをこえてなお同じであるといえます。『紫式部日記』においてはその営みがより顕著です。『紫式部日記』が描く一条天皇は、敦成親王を抱き、漢文を学ぶ女性たちを評価する姿でした。藤原公任は、『源氏物語』を読んでいる藤原公任です。極言すれば、紫式部が評価できる、評価したい面が描かれているのです。

そして、『紫式部日記』が描く、描きたかった藤原道長とは、男女の愛情として結ばれる相手ではなく、和歌を詠み合い、物語をはじめとする文化で影子をともに支え、そうした互いの有様を認め合う姿、そして家族を愛し、お酒を愛し、栄華の絶頂にいる姿なのでした。

一方で、『紫式部日記』の中に、信

頼の先にふたりの特別な仲があったことを完全に否定しうる材料がないのも確かです。その意味で私たちは、『源氏物語』という偉大な作品を生み出した、作者紫式部が紡ぐ紫式部と藤原道長の物語の中で翻弄されているといえます。千年のときをこえて今なお、紫式部は千年後の読者を翻弄する、偉大な物語作者であり続けているのです。その紫式部が紡ぐ物語の迷宮に、本文を丁寧に読み、丹念に向かいあうことで、千年のときをこえてさまよえることの悦楽を、これからも学生の皆さんと共に深く味わっていききたいと思っています。



コンテンツツーリズム（聖地巡礼）と 地域創造

国際コミュニケーション学科 教授 丸山 信人



皆さんは、「推し活」をされていますか？近年、「推し活の時代」といわれています。学習院女子大学の学生100人に対するアンケート調査によると、96%の学生に推しがいるという結果になりました。この「推し文化」は、Z世代の皆さんの価値観の原点に影響を与える存在になってきています。この現象は、国際的には「ファンダム」と表現されています。

「コンテンツツーリズム」という言葉を聞いたことがありますか？これも、推し活とも連動し、新たな国際的なトレンドとなっています。コンテンツツーリズムとは、日本が創り出した言葉で、2005年に、国土交通省・経済産業省・文化



庁の調査報告書が初出の和製英語です。コンテンツツーリズムでは、『地域にコンテンツを通じて醸成された地域固有のイメージとしての「物語性」「テーマ性」を付加し、その物語性を観光資源として活用すること』と定義しています。

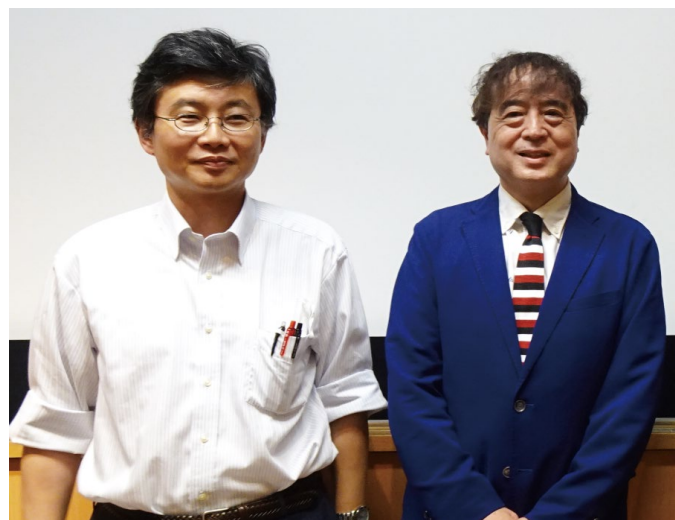
このコンテンツツーリズムの研究は、2つの流れで研究しています。

一つは「政策支援ツーリズム型研究」、そしてもう一つは「アニメツーリズム型研究」です。政策支援ツーリズム型の背景には、観光庁の訪日外国人旅行者を2030年に6,000万人にする「観光立国」と、総務省の地域との関わりを増やす「交流人口・関係人口」という政策があります。各地域では、フィ

ルムコミッションなどにより、映画、ドラマのロケ地誘致をはじめ、マンガ、小説、音楽の舞台化、ご当地キャラなどの独自のコンテンツによる施策が増えています。

また、もう一つのアニメツーリズム型は、アニメ作品をきっかけとした、いわゆる「聖地巡礼」の現象です。2000年代半ば、アニメファンが大好きなアニメ作品のロケーションモデル地や舞台地を訪れる旅行を始め、それに伴う地域コミュニティとアニメファンの交流拡大という現象に端を発しています。この聖地巡礼は、コンテンツツーリズムの一部だと位置づけることができますが、国内には5,000件以上の聖地があります。例えば、2016年にヒットしたアニメ映画「君の名は。」「聲の形」「ルドルフとイッパイアッテナ」の3作品による岐阜県への年間観光客数は約103万人、岐阜県内での総合経済波及効果は235億円という新たな地域創造をもたらしています。

さらに、コンテンツが瞬時に越境し多様な国際観光振興を生み出



し、メディアのジャンルを超えて、日本だけではなく世界に広がっています。コンテンツとは、コミュニケーションをつなぎあうものであり、メディアの中にあるコンテンツがアダプテーションされ、既存のメディアだけではなく、社会全体に新たなコンテンツを創りだすことにより、コンテンツツーリズムも、さらに国際的に拡大をしていきます。

学生の皆さんにはぜひ、大学での想い出を自分の物語（コンテンツ）にして、大学を「聖地」のひとつとして、この戸山キャンパスに、卒業後も「聖地巡礼」に戻ってきてほしいと願っています。



協定留学生 (ミュンヘン大学)
シュテルケン・リンダ・
タイース

私はドイツ出身で、日本に来て3ヶ月が経ちました。今回が2回目の日本生活で、1回目は2017年にワーキングホリデーで滞在していました。再び日本に住むことができ、とても幸せです。今回は留学という形で新たな挑戦をしており、大学内外で多くの素敵な友達ができました。日本での生活は毎日新しい発見に満ちています。

今回の滞在中に、前回訪れなかった都道府県を巡ることを目標にしました。まず、大学主催の山梨県へのバス旅行では、恵林寺で坐禅を体験しました。静寂な空間の中で心を落ち着かせる時間はとても特別で、日本文化の深さに感動しました。また、栃木県の日光では紅葉が美しい秋景色を堪能しました。赤や黄色に染まった木々が織りなす風景は、まるで絵画のようでした。

さらに、群馬県では寮のオーナーが所有する古民家に泊まる機会がありました。初めて入ったこたつの暖かさや、歴史を感じる建物の雰囲気、心が和みました。そして、クリスマス休暇には、新潟県で留学生の友達3人と2泊3日の旅行を楽しみました。



ました。新しい街を探索しながら、新鮮な海鮮を堪能し、笑いの絶えない時間を過ごしました。

さらに、2月には北海道の札幌で開催される雪まつりにぜひ行ってみたいと考えています。巨大な雪像や美しいイルミネーションを見ることができるとこのイベントは、ずっと憧れていた日本の冬の風物詩の一つです。

また、大学で履修している日本語クラスのおかげで、日々日本語が上達していると実感しています。今年はさらに挑戦し、日本語能力試験の1級を受験する目標を立てました。そして、華道の授業で初めて生け花を体験しました。子供の頃から芸術が大好きで、いつか生け花を学んでみたいと思っていたので、その願いが叶ってとても嬉しいですね。花一つ一つの配置やバランスに込められた意味を学び、日本の美意識の素晴らしさに改めて感動しました。

これからも、たくさんの方に挑戦し、新しい経験を積み重ねたいと思っています。この留学は、私にとってかけがえのない時間になりそうです。



国際コミュニケーション学科
4年(韓国出身)
金ソル

皆様、ごきげんよう。もう4年間の大学生生活が終わり、このように原稿を書くことが夢のようです。書く前に、4年前、入学する前の気持ちをもう一度思い出しました。

皆様が学習院女子大学を思い出す時、どんな色で描かれるでしょうか。ある人は学校を守る正門を思い出して「赤色」を、ある人は夏の学校を思い出して「緑色」を連想するかもしれません。私にとって学習院女子大学は「ピンク色」でした。1年生の時にもらったピンク色の「学生手帳」、春に学校を飾った「さくら」、会ったたびに笑顔で挨拶してくれた「友達の頬」まで。何よりも、私が一番好きな色はピンク色なので、学友は「ピンク色」で、長く心に残ることでしょう。4年間、私にとって学習院女子大学はまるでピンク色のような存在でした。家族も知り合いもいなかった日本という慣れない国で、心が安らくなる場所、それが私の学校、私の学友でした。

もちろん、たまには課題が多くて、試験が難しすぎて、色々な理由で学校に行



きたくないと思ったこともありましたが、学校が嫌だと思ったことは一度もありませんでした。学校に行く道も、学校のキャンパスも、学校で出会った人たちも、私にはすべて良い思い出として残っています。学校でもらった思い出が心の中に残り、今は何でもできるような気がします。

私は大学での4年間の思い出として胸に刻んだまま、新たな出発に向けて、6年間の日本生活を締めくくります。韓国に戻ったら、どんな未来が待っているのかはまだ分かりませんが、再び入学当初の気持ちで挑戦してみたいと思います。皆様も、自分の4年間のどのような色で残したいか、考えてみませんか？どんな色であっても、私たちの色を合わせれば、きっと学習院女子大学という美しい絵が完成すると思います。世の中で自分だけの色を持って、新しい絵を描くその時まで、ごきげんよう。



海外留学報告

国際コミュニケーション学科

4年

カーン 茉利紗

私はエストニアのタリン大学に1年間留学していました。大学はエストニアの首都タリンに位置しており、自然豊かな国立公園や美しい海の近くにありながら、市街へのアクセスも良く、生活しやすい環境が整っています。

タリン大学には70カ国以上から750名もの留学生が集まっており、学生の約10分の1が留学生で、エストニア人の学生と留学生と一緒に学ぶ機会が豊富にあります。私が選んだ国際関係論の授業では、各国の視点から国際問題を学ぶことができ、日本では得られない貴重な経験となりました。特に、グローバルな視野を持つ学生たちと共に学ぶことで、私自身の考え方も広がり、異文化理解の重要性を実感しました。

また、タリン大学では学生向けのイベントが開催され、授業以外でも積極的に交流を深めることができました。イベントは週に1〜2回行われ、アイスブレイクとなる企画もありました。さらに、特別なツアーとして、フィンランドのラップ



ランドツアーや、北欧3カ国を巡るバルト海クルーズに参加できることも魅力の一つであると思います。

この留学を通じて、私は学問を深めただけでなく、異文化に触れることができ、新たな価値観を発見する貴重な機会を得ました。英語を使って学ぶことに最初は不安もありましたが、タリン大学の学生たちはとても寛容で、うまくいなくても、決して批判することなく、お互いに支え合いながら乗り越えていました。そのような環境で学び、何度も挑戦を繰り返すことで自信を深めることができ、困難に直面しても、挑戦する強さが身につきました。

留学を通じて得た経験は、何ものにも代えがたいものであり、これを実現できたのは、留学前から支えてくださった方々のおかげです。本当にありがとうございました。今後もこの経験を活かしていきたいと考えています。



海外留学報告

国際コミュニケーション学科

4年

鎌田 桃衣

私は、アメリカのミズウリ州にあるミズウリ南部州立大学に1年間留学しました。元々英語を話すことが好きだったので、語学力をより磨き上げたいと思い、留学を決めました。

ミズウリ南部州立大学は、自然豊かなキャンパスと学生たちが和気あいあいとして活気のある雰囲気があると思います。キャンパスにいる友達とは皆親しみやすく、自然と毎日笑顔で生活していました。大学のあるジョプリンはアメリカではどちらかというと田舎でのんびりした場所です。

授業ではディスカッションが多いことが特徴です。私は最初、ディスカッションの速さについていけませんでしたが、しかし、弱音を吐かずに毎日コツコツと勉強をしました。その甲斐あってか、徐々にディスカッションにも参加出来るようになり、最終的に良い成績をとることができました。また、大学では年間を通して多くの留学生向けのイベントがあります。どれも充実したもので忘れられない思い出が必ずできます。



そして、ミズウリ南部州立大学の留学生には、留学生活中に現地の家族と一緒に生活を体験できるフレンドシップファミリーという制度があります。私は週末にフレンドシップファミリーの方と一緒にジョプリンの自然を楽しんだり、お買い物をしたりと多くの素敵な体験をさせていただきました。

また、私はカンバセーションパートナーという制度で友達をつくりました。彼女はオザーク・キリスト教大学というジョプリンにある別の大学の学生です。彼女とは1週間、もしくは2週間に1回の頻度で会います。彼女と過ごした時間は私にとって大切な宝物と言えるほど、素敵な友達です。

最後に、私の留学を支えてくださった国際交流推進センターの皆さん、そして家族には感謝の気持ちでいっぱい입니다。この経験を生かして社会に貢献できる人になりたいです。

2024

国際交流推進センター 行事報告



4月

16・17日 協定留学説明会

18日 留学生Welcome Party

22日 IELTS説明会

23日 TOEFL説明会

今年度は2日間説明会を行いました。1日目は先輩たちの体験談披露を中心に、2日目は協定留学の仕組みに関する説明を中心に行いました。

協定校への留学を目指す学生向けに、春学期と秋学期にそれぞれ協定留学説明会と、留学から帰国した学生に直接質問ができる座談会を開催しています。

8日 留学経験者との座談会

16日 TOEFL ITPテスト学内受験

24日 留学生の話を聞こう!(台湾)

5月

サンパール荒川で、歌舞伎の見かたについての説明を受け、恋飛脚大和往来一封印切—を鑑賞しました。

1日 (霞会館助成)歌舞伎鑑賞教室

21日 留学生の話を聞こう!(ポーランド)

29日 留学生ゆかた講習会

6月

きもの文化部主催のゆかた着付け講習会に、協定留学生11名と協定派遣予定学生1名が参加しました。

26・27日 協定・ダブルディグリー留学説明会

30日 IELTS説明会

9月

国立能楽堂で、狂言 寝音曲・能 蟬丸一替之型—を鑑賞しました。

1日 留学生の話を聞こう!(ベトナム・韓国)

9日 (霞会館助成)能楽鑑賞会

18日 留学生の話を聞こう!(チェコ・台湾)

11月

山梨県恵林寺での坐禅体験ならびに忍野八海と鳴沢氷穴の見学をしました。協定・私費留学生28名が参加し、親交を深めることができました。

1日 TOEFL説明会

3日 留学生Welcome Party

3・7日 協定留学経験者との座談会

10日 TOEFL ITPテスト学内受験

17日 (霞会館助成)留学生バス旅行

25日 留学生の話を聞こう!(ドイツ・韓国)

10月

秋学期で卒業予定または協定留学期間を終えて帰国する留学生の送別会です。

16日 留学生Farewell Party

1月

7日 (尚友倶楽部助成)学習院女子大学長杯留学生日本語スピーチコンテスト

9日 留学生の話を聞こう!(台湾)

12月



留学制度について

- 本学在学中に留学するには、以下の4つの方法があります。
 1. 協定留学: 学内選考を経て、協定大学に留学すること。
 2. 私費留学: 学士の学位授与権のある大学または当該大学に直結する附属機関に、事前に本学の許可を受けた上で留学すること。
(留学先は自分自身で選択。プログラムの内容によっては留学と認められない場合もあります。)
 3. ダブルディグリー留学: 海外の大学に留学し、それぞれの大学で修得した単位の一部を両大学が相互に単位認定することで、両大学の学位を取得すること。(本学はカナダのレスブリッジ大学との間でダブルディグリー協定を締結しています。)
 4. その他の留学: 本学を休学して、海外の語学学校・専門学校などで留学すること。(夏休みなどの長期休暇を利用して留学する場合には休学する必要はありません。)

区分	留学期間	単位認定	学費	備考
協定留学	原則2学期間(1年)	可	本学学費全額納入・協定校学費免除	1学期間(半年)の留学も可能・4年間で卒業可能
私費留学	原則2学期間(1年)	可	在籍料相当額納入・留学先学費は自費	1学期間(半年)の留学も可能・4年間で卒業可能
ダブルディグリー留学	①2年次秋学期から留学する場合: 原則5学期間(2年半) ②3年次秋学期から留学する場合: 原則4学期間(2年)	可	在籍料相当額納入・留学先学費は自費	最短5年間で卒業
その他の留学	1学期～学期に定める休学可能期間内	不可	在籍料相当額納入・留学先学費は自費	休学扱い・4年間で卒業不可

協定留学について

1. 協定留学とは
 本学では、現在17の国・地域の26校の大学と交換留学協定を締結しています。この26校の協定大学へ、学内の選考を経た上、本学より推薦を受けて派遣されることを協定留学といいます。
2. 学生交換・派遣プログラムのある協定大学一覧(2025年2月現在)

国名	大学名/所在地	語学力の目安 ※①、②、③
イギリス	リーズ大学 リーズ/ウェスト・ヨークシャー州	IELTS 6.0(Overall)以上 各5.5(L, R, W & S)以上
フランス	西部カトリック大学 アンジェ	ヨーロッパ言語共通参照枠B2レベル
イタリア	ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学 ヴェネツィア	IELTS 5.5(Overall)以上 または TOEFL iBT 72点以上 または 実用イタリア語検定準2級以上 または PLIDA、CELI、CILS B2レベル以上
ドイツ	ハンブルク大学 ハンブルク/ハンブルク州	ゲーテ・インスティテュート・ ドイツ語検定B1レベル程度 または ドイツ語検定試験2級程度
	ミュンヘン大学 ミュンヘン/バイエルン州	ゲーテ・インスティテュート・ ドイツ語検定B1レベル程度 または ドイツ語検定試験2級程度 または IELTS 5.5(Overall)以上 または TOEFL iBT 90点以上
チェコ	パラツキー大学 オロモウツ	TOEFL iBT 72点以上 または IELTS 5.5(Overall)以上
ポーランド	ワルシャワ大学 ワルシャワ	TOEFL iBT 75点以上 または IELTS 5.5(Overall)以上
ルーマニア	ブカレスト大学 ブカレスト	TOEFL iBT 72点程度 または IELTS 5.5(Overall)以上
エストニア	タリン大学 タリン	TOEFL iBT 72点以上 または IELTS 5.5(Overall)以上
中国	清華大学 北京	中国語検定試験(HSK)5級以上
韓国	誠信女子大学 ソウル	韓国語能力試験(TOPIK)中級程度 または ハングル能力検定試験4級程度
	梨花女子大学 ソウル	韓国語能力試験(TOPIK)中級以上 または ハングル能力検定試験3級以上 または TOEFL iBT 72点以上 または IELTS 5.5(Overall)以上
台湾	実践大学 台北	TOEFL iBT 69点以上 または IELTS 5.5(Overall)以上
	静宜大学 台中	中国語検定試験(HSK)3級以上 または 中国語検定試験3級以上 または TOEFL iBT 61点以上 または IELTS 6.0以上
	国立高雄大学 高雄	中国語検定試験(HSK)3級以上 または 中国語検定試験3級以上

国名	大学名/所在地	語学力の目安 ※①、②、③
ベトナム	フエ大学外国語大学 フエ	IELTS 5.5(Overall)以上
	ベトナム国家大学ホーチミン市 人文社会科学大学 ホーチミン	IELTS 6.0(Overall)以上
ラオス	ラオス国立大学 ビエンチャン	TOEFL iBT 57点以上 または 同等レベルの英語能力
タイ	タイ・アサンプション大学 サムットプラカーン	IELTS 6.5(Overall)以上
オーストラリア	ディーキン大学 ※④ メルボルン/ヴィクトリア州	TOEFL iBT 69点以上(W21以上) または IELTS 6.0(Overall)以上、 各6.0(L, R, W & S)以上
アメリカ	ウェストアラバマ大学 リビングストン/アラバマ州	TOEFL iBT 61点以上 または TOEFL PBT(ITP) 500点以上 または IELTS 6.0(Overall)以上、 各5.0(L, R, W & S)程度
	カリフォルニア大学デービス校 ※④ デービス/カリフォルニア州	TOEFL iBT 71点以上 または IELTS 6.0(Overall)以上
	ボーリンググリーン州立大学 ボーリンググリーン/オハイオ州	TOEFL iBT 71点以上 または IELTS 6.0(Overall)以上
	ミズウリ南部州立大学 ジョプリン/ミズウリ州	TOEFL iBT 50点以上 または IELTS 5.5(Overall)以上、 各5.0(L, R, W & S)以上
カナダ	ノーザンブリティッシュコロンビア 大学 プリンスジョージ /ブリティッシュコロンビア州	TOEFL iBT 90点以上 (各セクション20点以上) または IELTS 6.5(Overall)以上、 各6.0(L, R, W & S)以上
	レスブリッジ大学 レスブリッジ/アルバータ州	TOEFL iBT 76点以上(L,R,S16,W18以上) または IELTS 6.0(各5.5)以上 または ケンブリッジ英検 C1Advanced もしくはB2 First 169(各サブスコア169)以上 または PTE Academic 51(Overall) (各50)以上 または Duolingo 105点(Literacy,Comprehension, Conversation95,Production90)以上

※① 語学力の目安は2025年2月現在のものであり、協定校側から変更通知がある場合があります。
 ※② L=Listening, R=Reading, W=Writing, S=Speaking
 ※③ 学部により異なる場合があります。
 ※④ 私費による派遣のみとなります。

2024年度 協定留學生 国籍別受入人数

国籍	国籍別総数
韓国	5
台湾	3
ドイツ	2
ポーランド	2
ベトナム	2
チェコ	1
ラオス	1
合計	16

2024年度 協定留学 派遣人数

国	人数
アメリカ	3
チェコ	2
ドイツ	1
ポーランド	1
エストニア	1
韓国	1
カナダ	1
合計	10

私費留學生 国籍別受入人数※

2024年12月1日現在

国籍	国籍別総数
中国	26
韓国	5
ベトナム	1
合計	32

※除籍者・休学者除く、研究生を含む

留学説明会について

留学に興味のある方は、
留学説明会に
出席してください。

春派遣は4月、秋派遣は10月に開催を予定
しています。日時の詳細は、G-Portでお知
らせします。

きもの文化部

ごきげんよう。きもの文化部です。私たちは月2回外部の先生のご指導のもと、美しく装い、美しく立ち居振る舞い、美しく凛とした女性を目指すことを目標に着物の着付けや作法を学んでいます。お稽古は半幅帯の自装から始まり、名古屋帯、袋帯と進み、自装だけでなく、七五三の着付け、男性袴、留袖などの他者への着付けも学んでいます。現在、部員は32名おり、和気あいあいと活動しています。毎年6月には、浴衣講習会を開催し、留学生や本校の留学予定者とともにお稽古をし、皆で近隣の神社へ浴衣を



着てお参りに行きます。また、上級生はマナー検定やきものアドバイザーなどの資格取得に向け、練習に取り組んでいます。

例年、「日本の心と美の祭典 全日本きもの装いコンテスト」出場に向け、お稽古を重ねています。この大会では個人の部と学校対抗の部に出場しています。振袖やふくら雀の帯を鏡を見ずに美しく、早く着装することを競います。前年度の大会では惜しくも世界大会進出を逃しましたが、学女らしいパフォーマンスができました。雅祭、和祭、留学生スピーチコンテストでも振袖ショーを披露する機会があり、パフォーマンスにも磨きがかかってきました。

今後も、より多くの方に日本の伝統衣装である「きもの」の魅力をお伝えすることを目標に部員一同、日々楽しみながらお稽古に勤しんでいきたいと思っています。

国際コミュニケーション学科 2年
磯上 日向子

チアリーダー部

こんにちは!学習院女子大学チアリーダー部です。普段は週に5日、学習院女子大学の体育館で学習院大学の部員と合同で活動しています。年に3回の大会演技、大学祭のステージ発表に向けて練習に励んでいます。また、野球やアメリカンフットボール、ラクロス応援など様々なスポーツチームの応援活動にも力を入れています。大学を代表する応援団として献血活動などのボランティア活動にも参加しています。



チアリーディングはいかに観客を魅了し、惹きつけることができるかを競う表現のスポーツです。スタンツやピラミッドなどチアリーディング特有の技術を練習するほか、練習を通してチームワークやリーダーシップ、協調性、相手を思いやる気持ちを大切にして活動しています。

今年度のインカレでは、division1, division2両方で応援団部門優勝を果たし、全チーム入賞という輝かしい成績を収めることができました。日々の練習の成果が評価され、部員一同大変喜ばしく思っております。

これからも皆さんに「元気・勇気・笑顔」を届けるという信念のもと、また更なる高みを目指して日々の努力を積み重ねて参りたいと思います。これからも応援どうぞよろしくお願いいたします。

日本文化学科 4年
矢野 智恵美

裏千家茶道部

ごきげんよう。裏千家茶道部です。私たちは外部の先生方のご指導のもと、毎週火曜日と隔週水曜日の放課後に活動しております。主な活動内容としては日々のお稽古に加え、大学祭にてお茶会を開催するなど、様々な活動を行っています。

日々のお稽古では様々なお点前を学ぶことができます。その他にもお道具やお菓子、お花などで季節の移ろいを感じ、多くの知識に触れることができます。また作法を学べるだけではなく、相手を思って丁寧に一杯を差し上げるといふ、相手を思いやる、「もてなし」の心を学ぶことができました。

毎年、大学祭で開催しているお茶会では先生方の力をお



借りしながらですが、自分たちで計画し開催しております。一から自分たちでお茶会を作り上げるというのは、普段のお稽古では感じることはできない細かな部分まで相手のことを思いやることができ、大きな学びを得ることができます。

その他でも特別なお茶会に参加させていただくなど、普段なかなか体験することのできない貴重な経験をさせていただいています。

現代では日本文化に触れる機会が少なくなっています。そんな中で、本団体は日常的に日本文化に触れることができるきっかけになります。

今後も日本文化、茶道の素晴らしさを感じながら、日々お稽古に励みたいと思います。

日本文化学科 2年
是石 夏実

ごきげんよう。雅祭実行委員会です。雅祭は、毎年4月に行われます新入生歓迎会のことです。本学の委員会や部活動などの公認課外活動団体の紹介や、新入生同士の場となるような企画を運営しています。新入生の皆様が本学で新たな学生生活を楽しみ、過ごすことのできるような、出会いの場を私たちは提供しております。

今年度の雅祭は、コロナ禍が明け、昨年度よりも制限が緩和した形での開催となりました。課外活動団体によるステージ上でのパフォーマンスや、ブース相談会などの勧誘活動では、各団体と新入生の皆様が直接交流できるような場所を提供し、多くの

新入生が参加してくださいました。また、ウェルカムパーティーでも、座席が足りなくなるほど、数多くの新入生が参加してくださいました。新入生同士が集まり、飲み物やお菓子を食べ楽しく会話しながら、ビンゴゲームが行われました。この雅祭が新入生の皆様にとって、大学生活の新たな一歩を踏み出すきっかけの場になっていただけましたなら、幸いです。

最後に、雅祭の開催にあたり、ご協力してくださった大学職員の皆様、各団体の皆様、関係者の皆様に、この場をお借りいたしまして、厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。



「和祭」を振り返って

令和6年度 和祭実行委員長
国際コミュニケーション学科3年
石井 英梨香

令和6年度の和祭は、10月12日、13日に開催いたしました。

3年間、実行委員として和祭に携わってまいりましたが、2日間とも終日天気に恵まれたのは今年が初めてでした。晴天のもと、和祭を迎えられたこと、大変嬉しく思っております。

今年のテーマは、「彩（irodori）」です。このテーマには、学女生ひとりとひとりの個性が交じり合い、各々の彩であふれる和祭にしたいという願いが込められています。

このテーマのごとく、実行委員一同、一生懸命準備を進めて参りました。

和祭の開催にあたり、実行委員は約半年前から準備に取り掛かります。

何度も話し合いを重ね、委員全員が和祭の成功に向けて着実に準備を進めていきます。

その過程で、いくつもの壁にぶつかるとありますが、和祭を成功に導きたいという思いを一つに、実行委員一同、各々の役割を全うし、当日を迎えま

す。そして何より、和祭は毎年多くの方々にご参加、ご協力を頂き、成り立っております。

例年、好評である各団体によるステージ発表や、英語のクラス、サークル、ゼミによる出店等、沢山の方にご参加いただいたおかげで非常に活気のある和祭となりました。

その甲斐があつて、昨年よりも多くの方にご来場・ご参加

いただくことができ、すべての方々に感謝の気持ちでいっぱい

です。ご来場者の皆様の笑顔を目の当たりにし、和祭を開催する意義、そして運営側として携わる重みと有難さを感じました。

大学生活において一大イベントである和祭を切磋琢磨し合い、みんなで創り上げた経験は、一生の財産になったと確信しています。157名で創り上げた令和6年度の和祭に確かな自信と誇りを持てるのは、委員とともに全力で駆け抜けた日々があったからです。

本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございます。

また、本学は令和8年4月に学習院大学と統合する計画が

進められています。そのため、予定では和祭も残すところ、あと一回となりました。統合まで限られた時間の中で、第24回和祭実行委員長として和祭に携わることができ、大変光栄でした。私が委員長として、この1年間走りぬくことができたのは、多くの方々の支えがあったからです。支えてくださったすべての方々に、改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

最後となりましたが、和祭の開催・運営にあたりご理解、ご協力をいただきました教職員の皆様、地域、企業の皆様、卒業生の皆様、そして在学生の皆様へ実行委員一同、心より御礼申し上げます。



就職力

キャリア支援スケジュール (2024.12.31現在)

開催月	内 容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・就活スタートアップ講座 ―就職活動について ―夏季インターンシップについて ・集団面接セミナー ・内定獲得に向けた就活セミナー ・グループディスカッション練習会 ・教員採用試験対策セミナー (面接・レクチャー編) ・集団面接セミナー ・インターンシップ対策講座I ―自己分析 ・2年生から知っておきたい、インターンシップセミナー ・グループディスカッション練習会 ・留学希望者向け就職ガイダンス ―留学と就活を両立させるためには ・インターンシップ対策講座2 ―業界研究 ・公務員セミナー<第1弾>―公務員試験概要&学習方法― ・(全4回)就活ナビ講座
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ対策講座3―筆記試験 ・集団面接セミナー ・(全4回)就活ナビ講座 ・グループディスカッション練習会 ・公務員セミナー<第2弾>―公務員の仕事の魅力― ・客室乗務員集団面接練習会 ・インターンシップ対策講座4―ES対策 ・客室乗務員集団面接練習会 ・グランドスタッフ集団面接練習会 ・今から考える就活!自己分析・仕事理解&なんでも相談会
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ対策講座5 ―面接対策 ・今から考える就活!自己分析・仕事理解&なんでも相談会 ・公務員セミナー<第3弾>―夏から始める公務員試験― ・インターンシップ対策講座 ―マナー・メイク・身だしなみ ・グループディスカッション体験会
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・女子大学主催合同企業説明会 ・(26卒対象)採用企業説明会
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッション体験会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後のキャリアデザイン ・グループディスカッション体験会 ・内定者相談会(損害保険) ・適性試験対策講座(非言語分野)ガイダンス ・後期就活スタートアップ&面接対策セミナーガイダンス
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・業界研究ランチセミナー(ブライダル) ・(全4回)就活ナビ講座 ・(全2回)キャリアゼミ講座 ・適性試験対策講座(非言語分野)ガイダンス ・自己分析相談会兼面接対策セミナー申込書書き方説明会 ・業界研究ランチセミナー(情報通信) ・優良企業の探し方 ・女子大学合同企業説明会 ・2年生対象キャリアガイダンス ・筆記試験対策講座 ―ポイント掴んで確実な得点アップにつなげよう!― ・業界研究ランチセミナー(メーカー) ・業界研究ランチセミナー(航空) ・自己分析×業界研究セミナー ―自己分析から導く 自分に最適な業界・企業を見つけよう!― ・業界研究ランチセミナー(ホテル) ・通過するES対策講座 ―採用担当者の視点から― ・就活にも使える! GPS-Academic 活用セミナー ・業界研究ランチセミナー(商社)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・内定者報告会(大手金融) ・内定者報告会(大手マスコミ) ・業界研究ランチセミナー(金融) ・内定者報告会(公務員) ・内定者報告会(客室乗務員) ・(外国人留学生対象)就職ガイダンス ・内定者報告会(大手ITメーカー) ・内定者報告会(大手法律事務所) ・業界研究ランチセミナー(コンサル)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・留学希望者対象就職活動ガイダンス ・グループディスカッション練習会 ・内定者報告会(グランドスタッフ) ・8業界丸わかりセミナー―自身のキャリアを切り拓こう― ・(全2日間)面接対策セミナー ・(全2回)グループディスカッション練習会
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・30分でわかる就活直前対策講座・内定者による就職活動報告会 ・グループディスカッション練習会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・(全4日間)<26卒対象>学内合同業界研究セミナー ・グループディスカッション練習会 ・集団面接セミナー
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・(全3日間)女子大学主催合同企業説明会 ・グループディスカッション練習会 ・集団面接セミナー

「グローバルで多様性に開かれた学びの空間へ」という理念のもと、近年、学生達は様々な業界へチャレンジし、内定を得ています。小規模校のため、各企業への就職者数は大規模総合大学と比較し少数ですが、実就職では高い就職率を打ち出しており、大いに健闘しています。

キャリア支援部のサポート体制

キャリア支援部では、様々な相談に対し、キャリアカウンセラー有資格者が個別面談を実施しています。ES添削や面接練習では、対話の中から個々の経験や強みを引き出すことを大切に、面談では一人ひとりとじっくり向き合い、より良い進路選択ができるよう、サポートしています。

また、各学年向けプログラムや学生のニーズに応じたセミナーを随時企画・実施しています。筆記試験対策、グループディスカッション対策、公務員セミナー、インターンシップ対策講座などの他、ゼミ形式で行う高学年向け就活ナビ講座、低学年向けキャリアゼミ講座など、プログラム内容は多岐に渡ります。より多くの学生が参加しやすいよう、授業のない時間帯に実施することで、学業と就職活動の両立が図れるよう支援しています。※24年度は年間約100回のセミナーを実施。

小規模校ならではのきめ細かい支援として、ゼミ教員とも連携し、学校全体で学生を支援していることも、本学の特徴です。

速報!

2024年
著名400社
実就職率
(卒業生数500人以下の大学)

全国
女子大
位

*全て大学通信調べ

*著名400社は、日経平均株価指数の採用銘柄に加え、会社規模や知名度、大学生の人気企業ランキングなどを参考に、大学通信が選定

令和6年度業界研究セミナー

早い段階でより多くの企業を知る機会を提供し、各業界を取り巻く環境や仕事内容等に関する理解を深めて選考に臨めるよう、業界研究セミナーを開催しています。2月には学内にて、40社あまりの企業に参加いただき、学生と企業との交流の場を設け、納得のいく志望企業の選択につなげています。

<令和6年度業界研究セミナー 主な参加企業>

アクセンチュア、アニヴェルセル、ANAエアポートサービス、アンダーソン・毛利・友常法律事務所、伊藤忠ロジスティクス、キュービータマゴ、京セラコミュニケーションシステムズ、熊谷組、国際協力銀行、コナミグループ、JALスカイ、JR東日本、住友商事マシネックス、ソニー損保、長島・大野・常松法律事務所、電通アドギア、日鉄エンジニアリング、日本航空、日本生命、日本郵便、パレスホテル、Plan・Do・See、ホテルニューオータニ、マイナビ、三井住友銀行、三井住友信託銀行、三菱商事パッケージング、村田製作所、森村商事、横河レンタリース、楽天カード、リソな銀行、リコージャパン

キャリア・就職支援

入学したその日から卒業後の将来を見据えて、
一人ひとりを手厚くバックアップします。



(株)読売新聞東京本社
日本文化学科

北村 莉心

私は「自分の強みを活かすことができる」という軸を持ち、就職活動に励みました。自分の可能性を狭めないために幅広い業界・企業の選考を受けていました。その中でも読売新聞東京本社は第一志望だったので、内定を頂いたことを報告した際、キャリア支援部の方も一緒に喜んでくださったのを今でも鮮明に覚えております。

個人面談

本選考中に私の1番の支えとなったのは間違いなくキャリア支援部の皆さんです。就職活動に関し、右も左も分からないまま、なんとなくで始めた3年の秋頃からお世話になりました。始めた当初は大きな不安を抱えていましたが、ESを2週間ごとに提出し、添削やアドバイスをしてもらった場、定期

的に進捗や悩みを相談する場として個別面談を活用した結果、就職活動を非常に実りあるものとすることができました。

面接対策セミナー

面接対策セミナーへの参加も良い経験となりました。実際に面接をすることで、自分の良い点と改善点を的確に講師の方が教えてくださり、本選考の面接でもセミナーで指摘された点を意識することができました。

最後になりましたが、キャリア支援部の皆さん、今までありがとうございました。そして後輩の皆さんの就職活動がより良いものとなるよう、陰ながら応援しています。

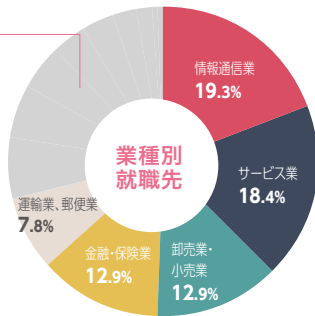
2023年度 就職状況

(2023年9月・2024年3月卒業生)

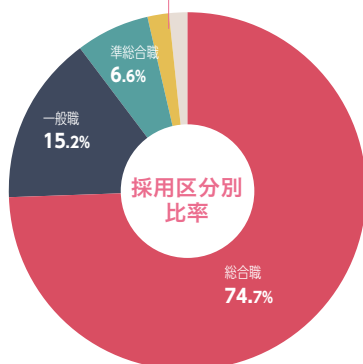
令和6年3月31日現在

卒業決定者	404人
就職希望者	353人
就職希望率	87.4%
就職内定者	348人
就職内定率	98.6%

宿泊業、飲食サービス業 6.3%
不動産業・物品賃貸業 5.5%
製造業 4.9%
教育・学習支援業 3.4%
公務 3.4%
建設業 2.6%
医療・福祉 1.7%
電気・ガス・熱供給・水道業 0.6%
複合サービス業 0.3%



専門職 2.0%
契約 1.5%



主な就職先

産業	企業名
情報通信業	ANAテレマート、NSD、NTTデータ・フィナンシャルテクノロジー、ENEOSシステムズ、MS&AD事務サービス、MS&ADシステムズ、大塚商会、京セラコミュニケーションシステム、JR東日本ステーションサービス、セラク、TIS、ディップ、DYM、東京海上日動システムズ、トランス・コスモス、日本電気通信システム、日本アイ・ビー・エムデジタルサービス、日本タタ・コンサルタンシー・サービス、農中ビジネスサポート、パーソルプロセス&テクノロジー、日立システムズパワーサービス、日立社会情報サービス、富士通エンジニアリングテクノロジー、三菱総研DCS、三菱電機インフォメーションシステムズ、明治安田オフィスパートナーズ、レバレジーズ
サービス業	アクセンチュア、アニヴェルセル、アンダーソン・毛利・友常法律事務所、GEEKLY、航空保安事業センター、コナミグループ、J-POWERビジネスサービス、JALナビア、スイスポージャパン、電通PRコンサルティング、日本経済団体連合会、日本総合住生活、日本旅行、ネオキャリア、ノバレーゼ、パーソルテンプスタッフ、パーソルワークススイッチコンサルティング、長谷工コミュニティ、羽田エアポートエンタープライズ、羽田旅客サービス、阪急交通社、ファーストリテイリング、弁護士法人大江橋法律事務所、防災科学技術研究所、マンパワーグループ、みずほビジネスサービス、ミネバ税理士法人、メンバーズ、森・濱田松本法律事務所、USEN-NEXT HOLDINGS、ラウンドワン、リクルート、リコクリエティブサービス、りそなホールディングス、レイス
卸売業、小売業	アクタス、伊藤忠商事、オーケー、ケイ・ウノ、三菱愛プリ、しまむら、島村楽器、住電商事、住友商事マシネックス、セブーンイレブ・ジャパン、ダイキンHVACソリューション東京、ツツミ、ドコモCS、FVジャパン、ニトリ、日本アクセス、日本アルコール販売、日本ハムマーケティング、阪和興業、日比谷花壇、富士フイルムサービスリンク、富士フイルムビジネスソリューションジャパン、丸井織物、マルエツ、三菱食品、森村商事、ヤオコー、ユーハイム、リコー・ジャパン、ルイ・ヴィトンジャパン
金融・保険業	あいおいニッセイ同和損害保険、朝日生命保険、イーデザイン損害保険、国際協力銀行、四国銀行、常陽銀行、住友生命保険、双日インシュアランス、第一生命保険、太陽生命保険、千葉銀行、東京海上日動火災保険、東京信用金庫、日本生命保険、農林中金全連アセットマネジメント、野村證券、東日本銀行、富国生命保険、PayPay銀行、ほけんの窓口グループ、みずほ銀行、宮崎銀行、明治安田生命保険、モルガン・スタンレー MUFG証券、ゆうちょ銀行、ユーシーカード、楽天カード、りそな銀行、ろうきん中央機関グループ
運輸業、郵便業	ANAエアポートサービス、ANA成田エアポートサービス、キャセイパシフィック航空、ZIPAIR Tokyo、JALスカイ、スカイマーク、住商グローバル・ロジスティクス、全日本空輸、東京ロジファクトリー、日本通運、日本航空、東日本旅客鉄道、三井倉庫エクスプレス、ロジスティクス・ネットワーク
宿泊業、飲食サービス業	アパホテル、加賀屋、京都ホテル(ホテルオークラ京都)、ザ・キャピタルホテル東急、サッポロライオン、東京ドームホテル、パレスホテル、藤田観光、星野リゾート、三井不動産ホテルマネジメント、森ビルホスピタリティコーポレーション、リゾートトラスト、ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ
不動産業、物品賃貸業	住友不動産販売、セキスイハイム不動産、全農ビジネスサポート、東急リパブル、東京センチュリー、野村不動産ソリューションズ、丸紅都市開発、三井不動産、三井不動産レジデンシャルサービス、三菱地所コミュニティ、URコミュニティ、ルミネ
製造業	イブサ、JR東海リテイリング・プラス、土屋製菓、鶴屋古信、デル・テクノロジー、日本たばこ産業、日本ビクター、フジクラ、富士フイルムグラフィックソリューションズ、ロック・フィールド、YKK AP
教育、学習支援業	学習院、KTC学園、国立大学法人東京大学、埼玉県教育委員会、創英コーポレーション、千葉県教育委員会、千葉明德学園、東京都教育委員会、獨協学園、富士見丘学園、臨海、早稲田アカデミー
公務	神奈川県(相模原市役所)、神奈川県(横浜市役所)、群馬県(桐生市役所)、厚生労働省、埼玉県(さいたま市役所)、千葉県(君津市役所)、千葉県(松戸市役所)、東京都人事委員会、東京23区(北区役所)、東京23区(新宿区役所)、東京23区(中央区役所)、東京23区(港区役所)
建設業	新菱冷熱工業、住友林業、東洋建設、パーパスエコテック、三井ホーム、LIXILトータルサービス
医療、福祉	セコム医療システム、日本年金機構、日本赤十字社、パネッセススタイルケア
電気・ガス・熱供給・水道業	エネサーブ、京葉瓦斯
複合サービス業	全国労働者共済生活協同組合連合会



厚生労働省

日本文化学科
高橋 岬

私が、将来について考えるきっかけとなったのは、大学の授業で女性の貧困について学んだことです。その授業では、女性が直面する経済的な困難さや、働きながら家庭を支える負担がいかに大きいのかについて知り、労働環境の改善が女性の貧困問題を解決する鍵であると強く感じました。この経験から、就労者支援や労働環境の改善に携わりたいと思い、国家公務員でありながらも地域に密着した支援ができる東京労働局を就職先を選びました。

私は大学3年の4月から公務員の予備校に通い、最終的には財務専門官、新宿区役所から内定をいただくことができました。公務員試験の筆記は、科目数が多く、出題範囲も広いので、ポイントを絞りながら学習していました。全

ての科目を完璧にこなすのではなく、自分の受験先の試験科目情報を集め、優先順位をつけて学習することが重要です。また、どうしても勉強の気が乗らない時は自分がまとめたノートを眺めるだけでも効果があると思います。

私が諦めないで頑張ってきたのは、家族や友達、キャリア支援部の方々の温かい支援や協力のおかげです。皆さんも1人で悩まずに周りの人を沢山頼り、焦らず、自分の納得いくような就職活動を頑張ってください。心から応援しています。

4月からは、厚生労働事務官として“働きたい人のために働く”という信念を持ちながら、新たな環境に挑戦していきたいと思っています。

「幅広いお客様の支えとなり、それが自分の成長に繋がる仕事がしたい」という軸の元、金融業界を中心に就職活動に臨みました。

就職活動中大切にしていたことは、自分の経験やその時々気持ち等を細かく言語化することです。文字に書き起こすことで整理が出来るのはもちろん、面接の場においても話したいことを組み立てながら相手と会話する力が自然と身に付きました。言語化することで新しい自分の強みや弱みにも気づくことが出来たため、私にとって就職活動は、当初抱いていたマイナスなイメージよりも楽しさの味わる時間だったと今振り返ると思います。

私は憧れの職業がない状態から就職活動を始め、どんな仕事に就きたいかを考える前に、どんな人でありたいかを考えました。大学生活も「就職活動のために」ではなく、自分自身の成長のために資格取得や経験を積むことを心がけていました。その結果、主体的に取り組んだ授業や委員会活動、資格、経験が就職活動の役に立ったと感じています。

今春より、様々な業務に挑戦できる環境下で自身の希望を都度叶えていけるよう、精進していく次第です。最後になりますが、就職活動中支えてくださった皆様へ心より感謝申し上げます。



(株)リソナホールディングス

国際コミュニケーション学科
古田 名菜代



全日本空輸(株)

英語コミュニケーション学科
加科 光耶美

私は幼い頃からの夢であった客室乗務員を目指し、就職活動を進めて参りました。

「やらない後悔」をしないため、留学中に自己分析、オンラインの説明会やセミナー等に参加し、帰国後にスムーズに就職活動に取り組めるように対策をしていました。また、大学1年次から航空業界で役立つ資格としてTOEIC、HSKや秘書検定等の取得に励み、計画性を持って早い時期から行動することを意識しました。

面接対策ではキャリア支援部の方々大変お世話になりました。担当の方が悩みや不安を親身になって聞いて下さり、納得がいくまで対策をすることが出来ました。その

結果、採用試験では自信を持ち落ち着いて会話することで自分らしく面接に臨めました。

就職活動を乗り越えられたのはキャリア支援部をはじめ、OB・OGや家族や友人等多くの方々の応援のおかげだと感じ、大変感謝しております。

今後も支えてくれた周りの方々への感謝を忘れず、お客様お一人お一人に寄り添い心躍る感動を提供する客室乗務員を目指して参ります。

就職活動中には不安や焦りを感じることもあると思いますが、皆様には最後まで諦めずに自分を信じて就職活動を進めていただけたらと思います。心から応援しております。

新任専任教員紹介

日本文化学科 准教授

春日 美穂
かすが みほ



略歴

1978年長野県生まれ。國學院大學文学部日本文学科卒業、同大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期修了。博士（文学）。私立女子中高一貫校、大正大学教育開発推進センター、目白大学社会学部メディア表現学科を経て、2024年4月より現職。著書に『源氏物語の帝―人物と表現の連関―』（おうふう、2009年）、『源氏物語の皇統譜』（新典社、2024年）、共編著に『失敗から学ぶ大学生のレポート作成法』（ひつじ書房、2019年）、『平安女流文学論攷』（翰林書房、2023年）などがある。中古文学会常任委員、同編集委員、國學院大學国文学会委員。

私の研究

私の専門分野は『源氏物語』を中心とした平安文学です。『源氏物語』を読んでいると、紫式部は私たちより先の未来の人で、太陽光で完全充電でき、膨大なデータベースを内蔵できるパソコンを持って平安時代にタイムリープして『源氏物語』を書いたのではないか、と思うことがしばしばあります。たとえ

ば、学生の方のゼミ発表で改めて気づいたことでもあったのですが、光源氏は正妻葵の上について、「葵」巻で「すすすくし」と評しています。そこから物語の中で二十年以上の歳月が経過し、二十六帖経た後の「若菜下」巻でも、葵の上のことをやはり「すすすくし」と評しているのです。現代人ならパソコンで検索をして同じ表現にすることも容易でしょう。しかし、筆と墨で書いている時代、しかも『紫式部日記』を読むと、『源氏物語』は清書作業のために方々に貸し出されていたようなので、必要な箇所が紫式部の手元になかったことさえ想定されます。そうした環境下でどのようにして表現の一致を担保しながら、70年以上にも及ぶ物語を書き上げていったのだらうと思うと興味は尽きません。

また、『源氏物語』のひとりの帝である桐壺帝には、院政ともとれる描写がみられます。歴史上の院政は、『源氏物語』成立の段階よりもう少しあとに始まっており、あたかも『源氏物語』は歴史を予見しているかのような展開で、こうした点も魅力的です。

『源氏物語』などの平安文学は、現代なお、マンガやドラマなどの形でも愛され続けています。物語の面白さはもちろん、人々の生きる姿に千年の時を超えた真理を見出すからでもあるでしょう。千年前の人々に思いを寄せながら、作品を分析、研究することで、千年前の人々と私たちが変わらないこと、変わったこと、その理由：様々な観点から考え、そこから日々の自分たちの生活を愛おしむことにつながるような研究を、学生の皆さんと共に追究していきたいと考えています。

日本文化学科 教授

牧野 元紀
まきの もとのり



略歴

学習院大学文学部史学科、東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻修士課程・博士課程、Université de Paris III第3期課程。博士（学術）。国立公文書館調査員、東洋文庫研究員、Harvard-Yenching Visiting Scholar、昭和女子大学准教授等を経て現職。学習院大学・上智大学非常勤講師、東洋文庫文庫長特別補佐、永青文庫客員研究員。日本ベトナム研究者会議、東南アジア学会、日仏東洋学会、日本漢字学会、太平洋諸島学会、日本オセアニア学会会員。博物館学芸員、国立公文書館認証アーキビスト。

私の研究

本学における私の専門は博物館学です。そのキャリアの出発点は30年前に在籍した学習院大学史学科にあります。徳仁親王『テムズとともに―英国の二年間』（学習院教養新書7）が刊行間もなくに新入生全員に配本されたことを思い出します。皇太子殿下（当時）を卒業生に戴く学科という矜持もあったのか、教授陣は各分野の権威が勢揃い、贅沢な環境下で史学の手ほどきを受け

ました。

当時はバブル崩壊後のいわゆる就職氷河期に突入した頃と重なっています。文学部とくに史学科などは「就職に苦労するぞ」と周囲から散々「警告」を受けたものです。しかし、当初から大学院への進学を希望しており、そんな脅しはどく吹く風でした。史学科での4年間は先生方、友人達、先輩後輩に恵まれた豊かな人生のひとつとなりました。

とはいえ、「何かしら資格くらいは取っておくか」と試みに履修したのが博物館学芸員課程でした。博物館・美術館めぐりが元来好きで、展覧会を裏方で支える学芸員の仕事には興味がありました。この気まぐれが現在に至る職業人生なかならず大学教員として母校学習院に復帰することに結実するとは当時想像さえしていませんでした。

博士学位に加え、フランスでの留学経験と国立公文書館でのアーキビスト修業、そして何よりも学芸員資格が重宝されるかたちで東洋文庫に採用されたのは15年前のことです。以来今日に至るまで東洋文庫に併設されたミュージアムにおいて現場の学芸員としてほぼ全ての企画展に携わってまいりました。

本学では学芸員課程を主管し、授業科目としては博物館学を主としつつ隣接分野のアートマネジメントやアーカイブズ学も担当しています。受講生には博物館・美術館の現場で有用な理論や基本的技法を教授しています。博物館の基本機能である展示・収集・保管・調査はすべからず先人の知的営為を理解するためのものです。持続可能な未来に向けて、多（他）文化理解の入り口となる博物館の魅力と可能性を若年層へいかに訴求するか。新時代の博物館学を創出すべく、授業を通じて学生とのやり取りのなかで模索を続けているところです。

高橋 望

たかはし のぞむ



略歴

東北大学大学院教育学研究科博士課程修了。博士（教育学）。日本学術振興会特別研究員（PD）、群馬大学大学院教育学研究科講師、准教授を経て、2024年4月より現職。主な研究業績として、『新・教育制度論』ミネルヴァ書房（2023年、共著）、『第三版オーストラリア・ニュージーランドの教育』東信堂（2020年、共著）、『コロナ禍におけるニュージーランドの学校教育』『教育制度学研究』第28号（2021年、単著）、『オーストラリアの州のスクールリーダー養成システムに関する研究』『オセアニア教育研究』第26号（2020年、単著）、など。

私の研究

私の専門分野は教育学、特に教育行政学、教育経営学、比較教育学です。私はこれまで、オセアニア（特にニュージーランド）を主な研究フィールドとし、教育行政学、教育経営学の観点から、比較教育学の手法を援用しながら研究を進めてきました。

私のオセアニアとの出会いは、学部生時代に遡ります。3年生で所属したゼミの担当教員がオセアニア諸国の教育を研究対象としてい

たこともあり、豪州の現地公立学校で日本語教師として教育実習をする機会に恵まれました。机を並べて静かに先生の話を聞くという授業、夜遅くまで働く教職員の働き方が当たり前であり、それ以外を知らなかった私にとって、授業中自由に発言し友人同士で学び合う授業、夕方には学校内に誰もいないという教職員の働き方はとても新鮮であり、日本との違いに興味を持ちました。その経験が、私を外国教育研究へと惹きつけ、大学院進学後も、日本と諸外国の教育の在り方を比較することを研究の基軸とするようになりました。

日本は全国各自治体に教育委員会を設置した教育行政システムが構築されているのに対し、ニュージーランドは教育委員会が存在していません。同国は1980年代後半、世界に先駆けニュー・パブリック・マネジメント(NPM)を基本理念とした教育改革を行い、教育委員会を廃止し、各学校を主体とした自律的な学校経営を導入・確立しました。教育委員会という地方教育行政組織の有無が教育政策展開や学校での教育実践にどのような影響を与えるのか、そこで求められる学校ガバナンスやリーダーシップはいかなるものなのか、こうした関心のもとに研究を進めています。

一方、外国教育研究で得られた知見を踏まえ、日本の教職員の方々との共同研究に参画したり、公立小中学校における学校運営協議会（「コミュニティ・スクール」）委員、独立行政法人教職員支援機構（NIES）や自治体等における現職教員対象の研修講師を担当したりしています。

本学におきましては、日本の教育政策・実践だけではなく、諸外国のそれにも視野を広げながら、学生の皆さんと一緒によい教育の在り方について考えていきたいと思っています。また、教職課程を通して、学習院女子大学らしい教師の育成に貢献していきたいと考えております。どうぞよろしく願っています。

令和6年度

客員研究員受入一覧

	氏名	所属	受入部署	研究テーマ	共同研究者	受入開始	受入終了
1	伊藤 守幸	本学国際学研究所 客員研究員	国際学研究所	英語圏における日本語研究	金野 純	令和6年 4月1日	令和7年 3月31日
2	四方 八重戸	本学国際学研究所 客員研究員	国際学研究所	ジェンダー平等の実現をめぐる国際動向と日本の課題と取り組み及び提言 ～他国の好事例から学ぶ～	畠山 圭一	令和6年 4月1日	令和7年 3月31日
3	狩野 かおり	合同会社 Buit	環境教育センター	フードコンシャスネスメソッドが反芻的感情に及ぼす効果 ナチュラルチーズの嗜好に関する研究 漬物の嗜好に関する研究	品川 明	令和6年 6月1日	令和7年 7月31日



専任教員紹介

日本文学学科

今橋 理子	教授	日本美術史(江戸絵画史)、比較日本文化論
岩淵 令治	教授	日本近世史(江戸時代)、日本都市史
内野 儀	教授	表象文化論、舞台芸術(演劇・舞踊)論
宇都宮 由佳	教授	食文化、生活文化
春日 美穂	准教授	平安文学
木村 直恵	教授	日本近代史、文化史
工藤 雄一郎	教授	先史学、植物考古学、環境考古学、年代学、漆文化史
越塚 美加	教授	図書館情報学
佐藤 琢三	教授	日本語学(現代語の意味論・文法論)
澤田 匡人	教授	感情心理学
品川 明	教授	フードコンシャスネス教育、環境教育、食品科学、生態学、コミュニケーション
清水 将吾	准教授	情報科学、データ科学
土屋 有里子	教授	日本中世文学、説話文学、キリシタン文学
時安 邦治	教授	社会学・社会思想
橋本 彩	准教授	スポーツ人類学、文化人類学
福島 直恭	教授	日本語学、日本語史
福島 雅子	教授	日本服飾史、染織史
牧野 元紀	教授	博物館学、アーカイブズ学、東洋学

国際コミュニケーション学科

石澤 靖治	教授	国際コミュニケーション論、米国政治
伊藤 由紀子	教授	国際協力、NPO、NGO
ウーゴ・ミズコ	教授	建築学、歴史的建造物の保存修復史
江藤 正己	准教授	図書館・情報学(情報検索、情報システムなど)
大桃 敏行	教授	教育行政学、教育制度論
北川 香子	教授	東南アジア史・地域研究
金城 亜紀	教授	経営学、経営史
金野 純	教授	社会史、歴史社会学、東アジア地域研究(主に現代中国)
熊谷 英憲	教授	環境科学(地球環境学〈海底環境、海底火山、海底資源、環境放射線〉)
佐久間 みかよ	教授	アメリカ文学・文化
櫻井 大三	教授	国際法
櫻井 宏明	教授	国際経済、日本経済、アジア経済
澤田 知香子	教授	英語圏文学(イギリス小説)・文化、ポストモダニズム理論
高橋 望	准教授	教育行政学、教育経営学、比較教育学
武井 彩佳	教授	ドイツ現代史、ホロコースト研究、エスニシティ研究
中島 崇文	教授	中・東欧の歴史、政治、宗教、社会、文化、民族問題
畠山 圭一	教授	国際政治、アメリカ政治外交、日米関係
古庄 信	教授	英語学(歴史統語論、特にシェイクスピアと聖書の語法)、イギリス文化
正本 忍	教授	フランス近世史、社会史、法制史
丸山 信人	教授	社会情報学、コミュニケーションデザイン、メディア・コンテンツ、コミュニケーションAI
羅 京洙	教授	国際関係論、国際移動論、東アジア地域研究、現代コリア研究

英語コミュニケーション学科

ウィン・グン	教授	ビジネス英語
萱 忠義	教授	応用言語学、英語教育、早期英語教育、英語教育へのICT活用
ギュンター・ディルク	教授	英米文学、Pulp Fiction Studies、Popular Culture Studies
クレイ・サイモン	教授	翻訳研究、英語教育
高橋 礼子	准教授	応用言語学、World Englishes、English as a Lingua Franca
田島 千裕	准教授	異文化コミュニケーション、教育学、混合研究法、留学研究、英語教授法

専任教員著書紹介

2023年12月～2024年11月

※原則として単行書を取り上げ、著作形態および紹介文は教員の報告に拠っています。



工藤 雄一郎 教授

『縄文時代草創期の年代学』
著

出版社名／雄山閣

出版・発行年月／2024年2月

内容／縄文時代のはじまりはいつなのか？大平山元1遺跡、鳥浜貝塚、福井洞窟、泉福寺洞窟など草創期を代表する遺跡や、ウルシやクリなどの植物利用の起源を、最新の高精度放射性炭素年代測定による研究成果から示す。



中島 崇文 教授

『《YAMAKAWA SELECTION》
バルカン史 下』
著

出版社名／山川出版社

出版・発行年月／2024年4月

内容／1998年刊行の『新版世界各国史18 バルカン史』をもとに、近年までの動向を加筆し、ハンディ版としてリニューアルしたもの。中島は新たに追加された「現代のバルカン」(第10章)の「②ルーマニアとモルドヴァ」を執筆。



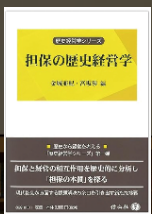
岩淵 令治 教授

『日本史の現在』4
近世
著

出版社名／山川出版社

出版・発行年月／2024年6月

内容／教科書と現在の最先端の研究をつなぐシリーズの1冊で、11章「大名屋敷と江戸の都市社会」を執筆した。



金城 重紀 教授

『担保の歴史経営学』
歴史経営学シリーズ

出版社名／信山社

出版・発行年月／2024年7月

内容／担保について専門の異なる7人の研究者が、歴史と経営を両軸に多面的かつ重層的に考察。担保と経営の相互作用を歴史的に分析し「担保の本質」を探る。現代社会が直面する課題解決の糸口を引き出す新たな挑戦。

共編著



牧野 元紀 教授

『増補改訂版
東インド会社とアジアの海賊』
編著

出版社名／勉誠社

出版・発行年月／2024年9月

内容／17世紀の西欧主要国で設立された東インド会社。そのアジアにおける海上覇権の確立に対して障壁となった現地の海賊たち。善悪の単純な図式には収まらない両者の攻防と活動の多様な実態を歴史資料から明らかにする。2015年刊行書の増補改訂版。



土屋 有里子 教授

『無住道暁の拓く鎌倉時代
—中世兼学僧の思想と空間—』
編著

出版社名／勉誠社

出版・発行年月／2024年10月

内容／『沙石集』の著者としても名高い鎌倉時代後期の遁世僧、無住道暁に関する初の論集。無住が生きた土地や修行の場、僧侶間ネットワークに着目し、宗教者としての内実と文芸活動を第一線の研究者が学際的に考察。

学生の学びに寄り添う図書館をめざして

今年度から105分授業が始まり、1時限目は8:45開始となりました。そこで授業前に図書館に立ち寄れるよう、開講期の開館時間を8:30に早めました。コロナ禍に減少した入館者数は回復を見せ、勉強のため長時間滞在する学生も増えています。今回は学習支援に関わる図書館サービスの状況(2024年12月時点)についてご紹介します。



■ブック・セレクトツアーを実施しました

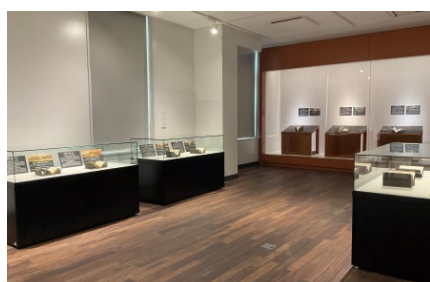
今年度も5月・10月に「ブック・セクター(学生選書委員)」を募集し、多くのご応募がありました。昨年度から繰り返し参加してくださる方もいます。当日、参加者は都内大型書店で他の学生に読んで欲しいと思う資料を選書してきました。今回はその中から小説・エッセイ本を中心に、食や観光、服飾に関する図書など約300冊を購入しました。特におすすめの本には参加者お手製のPOPを付けて、図書館2階の特設コーナーに並べています。非常に人気のコーナーです。



学生選書資料

■博物館実習展示で図書館の貴重書が紹介されました

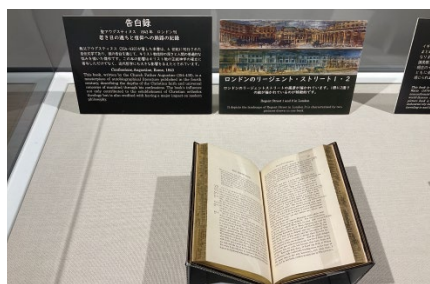
学芸員課程「博物館実習IA」の授業の一環で、当館の貴重書「小口絵本」をテーマに、学生による企画展示(学内限定)が



展示(全景)

開催されました。小口絵本とは、本の側面(小口)を傾けると綺麗な絵が現れるように仕掛けが施されている資料です。

履修生は企画・設営・作品解説の全てを担当します。日本ではあまり知られていない作品もあるため調査が難航し、図書館も一部協力



展示資料

しました。展示では、側面の絵を見せるための工夫としてパネルや動画を作成していました。

小口絵本は通常非公開のため、学内の皆様の目に触れられる良い機会となりました。

■図書館ガイダンスについて

レポート・卒業論文作成に図書館を活用していただくため、基礎演習やゼミナールの授業時間にガイダンスを実施しています。担当教員による申込制のため、内容は教員の希望で調整しますが、主に資料の探し方、データベースの使い方などを説明し、館内ツアーも行います。今年度は29回、約450名を対象に実施しました。授業後のアンケートでは、90%超の学生から「資料の探し方がよくわかった」という評価をいただきました。

■館内整備状況

図書館1階には半個室型の個人席(個人キャレル:予約制)があり、集中して勉強できるスペースとして人気があります。今までは背面を覆う形で囲いがあったため、部屋全体に圧迫感がありました。そこで囲いの背面部分のみカットする工事を行い、プライベートな空間を保ちながらも、開放的で見通しよい空間に近づけました。

また図書館では年2回、学生満足度調査を行っています。直近の回答でソファ席増設の希望が多かったことから、昨年度末にハイバックチェアを2台設置しました。今後も台数を



増やし、勉強疲れを癒すためのリラックス空間も整えていく予定です。

個人キャレル(1階)

保健室のごあんない

保健室は、学生の皆さんが心身ともに健康な学生生活を送れるように支援しています。

春の定期健康診断を通して病気の予防や早期発見に努めています。

日常業務としては、学校医や看護師による健康相談、疾病の応急処置、医療機関の案内等を行っています。

場 所	1号館1階
開 室 時 間	月曜日～金曜日 8:40～16:45 土曜日 8:40～12:30
学校医来室時間	隔週月曜日 14:00～16:00 隔週水曜日（メンタルヘルス相談）14:30～16:30 *予約制 家族の方の同席や家族の方のみでも相談が可能です
電 話 ・ F a x	03-3203-7503（直通）
E-mail	gwc-hlth@gakushuin.ac.jp

保健室では以下のような業務を行っています。



- 定期健康診断（毎年4月初旬）
- 健康診断証明書の発行（和文・英文）
- 英文予防接種証明書の発行
- 学校医・看護師による健康相談
- 医療機関の紹介・案内

保健室の入口です

- 応急処置・ベッド休養
*医療機関ではありませんので応急処置のみ行っています。
薬を渡すことはできませんので、
日頃からご自身に合う薬の携行をお願いします。
- 健康教育
（普通救命講習会の実施、雑誌や資料の閲覧、
健康に関する最新情報の掲示等）
- 行事救護（雅祭、和祭、入試、オープンキャンパス等）

カウンセリングルーム(C.A.T.ルーム)のごあんない

大学生活が、楽しく充実したものになることを願って、カウンセリングルーム（Come and Talk=C.A.T.ルーム）がおかれています。

自分の生き方、将来への足がかりを築くこの時期には、誰でもつまずいたり、悩んだりするものです。「悩むこと」によって、新しい

扉が開かれていきます。「たいしたことじゃないわ…」と置いていても、それが胸にわだかまって、気になり続けていることはありませんか？悩むことを恥ずかしがらずに、どんな小さなことでも気軽に訪ねてください。本学学生についてのご父母の皆様からのご相談も承っております。



C.A.T.ルーム談話室

- 開 室 日 時 : 月曜日～金曜日 10:00～17:00
- 場 所 : 4号館1階
- 電 話 : 直通&FAX 03(3203)7015 または03(3203)7169
- E - m a i l : gwc-cat@gakushuin.ac.jp
- カウンセラー : 非常勤 2名
(臨床心理士・公認心理師)

※対面相談の他に、Zoom、電話、メールでも対応しています。

- 毎年4月に「一人暮らしの人のウェルカムパーティー」を開催
- 毎年12月に「ココロとカラダをすこやかに」のテーマでワークショップを開催



学習院女子大学 学生数 一覧					
学科	日本文学科	国際コミュニケーション学科	英語コミュニケーション学科	合計	大学院修士課程
1年	216	220	82	518	3
2年	173	215	22	410	3
3年	149	178	24	351	-
4年	154	187	43	384	-
合計	692	800	171	1663	6
(令和6年12月1日現在)					

令和6年度 女子大学奨学金一覧表				※特記がない場合は学部・大学院共に対象。各奨学金の詳細は学生部窓口にお問い合わせください。			
制度名			金額(円)		募集時期	貸・給別	備考
安倍能成記念教育基金奨学金			450,000		募集しない・推薦制	給付	採用1ヶ年 2年生以上対象
学習院女子大学学業優秀者給付奨学金			学部学生 大学院生	150,000 300,000	募集しない・推薦制	給付	採用1ヶ年 2年生以上対象
学習院女子大学学費支援給付奨学金			学部学生	第2期授業料相当額	9月中旬	給付	採用1ヶ年
学習院女子大学教育ローン金利助成奨学金			在学中利子分給付(年50,000を上限)		11月上旬	給付	採用1ヶ年 毎年申請
学習院女子大学海外留学奨学金			500,000以内		G-Port	給付	
学習院女子大学海外留学奨学金 (交換によらない難関協定校への留学)			600,000以内		G-Port・掲示による	給付	
学習院女子大学海外短期語学研修奨学金			100,000以内		G-Port・掲示による	給付	
学習院女子大学海外ボランティア活動奨励金			100,000以内		G-Port・掲示による	給付	
学習院女子大学協定留学生奨学金			500,000以内		対象者へ個別通知	給付	協定留学生対象
学習院女子大学外国人留学生奨学金及び奨励金			奨学金	200,000	G-Port・掲示による	給付	毎年申請
			奨励金	300,000	募集しない・推薦制		
学習院父母会奨学金			学部学生(家計急変者に限る) 授業料・施設設備費相当額		11月中旬	給付	採用1ヶ年在学中1回限り
日本学生支援機構	学部学生	第1種(無利子)	自宅 月額54,000上限 自宅外 月額64,000上限	4月上旬	貸与	卒業月まで貸与	
		第2種(有利子)	月額120,000上限				
	大学院生	第1種(無利子)	月額50,000または88,000	4月上旬	貸与	修了月まで貸与	
		第2種(有利子)	希望により貸与月額5万、8万、10万、13万、15万の いずれかを選択				
高等教育の 修学支援新制度 (学部生のみ)		授業料減免	年額700,000を上限として減免		4月上旬	給付(減免)	継続審査あり
		日本学生支援機構 給付型奨学金	自宅 月額42,500上限 自宅外 月額75,800上限	4月上旬	給付	継続審査あり	
日本学生支援機構 外国人留学生学習奨励費			月48,000		募集しない・推薦制(※原則)	給付	採用1ヶ年 追加推薦あり
その他公私機関による奨学金制度			その都度G-Port及び掲示参照				

令和7年度 学年暦

4月	春季休業	1(火)~9(水)	9月	追試験	4(木)、5(金)
	新入生ガイダンス	1(火)~9(水)		秋学期ガイダンス	17(水)~19(金)
	健康診断	1(火)、2(水)		秋学期授業開始	26(金)
	入学式	4(金)		和祭準備(休講)	10(金)
	雅祭	5(土)	10月	和祭(休講)	11(土)、12(日)
5月	春学期授業開始	10(木)		和祭片付け(休講)	13(月)
	臨時休講	30(水)		開院記念日(休講)	17(金)
	臨時休講	1(木)、2(金)	11月	休日開講日	3(月)、24(月)
6月	休日開講日	6(火)	12月	臨時休講	20(土)
	開学記念日(休日開講日)	15(木)		冬季休業	23(火)~1/8(木)
7月	補講期間	17(木)、18(金)	1月	授業開始	9(金)
	休日開講日	21(月)		補講期間	20(火)、21(水)
	春学期末試験	19(土)~25(金)		秋学期末試験	22(木)~28(水)
	春学期試験予備日	26(土)		秋学期試験予備日	29(木)
	夏季休業	26(土)~9/25(木)	2月	春季休業	29(木)~3/31(火)
8月	集中講義期間	1(金)、2(土)、4(月)~7(木)		秋学期追試験	12(木)、13(金)
			3月	卒業式	19(木)
				在学生ガイダンス	23(月)~26(木)

学習院父母会の 近況報告

学習院女子大学 父母会会員の皆様へ

学習院父母会長 神山 直己

「ご父母の皆様におかれましては、当会の運営につきまして日頃よりご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。」

学習院父母会は、学習院全体の経営、教育に参画し支援する組織であり、その目的に従ってさまざまな活動をしております。これは他の学校法人には見られない特徴ということが出来ます。当会は、園児、児童、生徒、学生が学習院において充実した学校生活を送れるよう、多岐にわたって支援することを第一の役割であると考えております。それは、学習院で学ぶ子どもたちが社会人となり、明日の日本、そして世界の一翼を担う人材として成長することを願っているからです。

当会は、皆様から頂戴する年会費で運営されております。皆様とともに、お子さまのご成長ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

● 父母会の主要事業

(1) 父母会奨学金制度 (平成13年度創設)

学習院に在学する学生、生徒等で父母保証人の死亡などによって、家計が激変し、学費の支弁が困難になったと認められる勉学熱心な方に対し、選考のうえ、年15名以内、年額授業料・維持費(高等科以下の名称)・施設設備費(大学及び女子大学の名称)相当額を、学習院在学中1年度に限り給付するものです。令和5年度は1名の学生

(女子大学)へ給付いたしました。

(2) 父母会課外活動等助成金制度 (平成13年度創設)

現代は単に学問だけでなく、スポーツ・文化などを含めた広く大きな「人格形成」が教育の場に求められています。そこで当会では、大学、女子大学、男女中・高等科及び初等科の運動部・文化部等の課外活動に対し、積極的に助成をしております。

- ・各部・各クラブの備品用具等へ助成する一般助成金は、令和5年度は各学校合計57件でした。
- ・父母会課外活動等優秀賞・奨励賞受賞は、令和5年度は各学校合わせて、優秀賞が団体7件、個人20件、奨励賞が団体3件、個人28件でした。

● 父母会の近況報告

(1) コロナ禍における父母会運営

令和元年12月以降世界的な流行となった新型コロナウイルス感染症によって、当会の活動も大きな影響を受けました。対面による会議は開催中止とし、主務・常任幹事会や定例総会についても書面やWEBによって審議を行いました。各学校にはこれらに対応すべく、アルコールドレスベンサーの設置費用の助成や各科父母会室へのWiFi機器設置の助成等を行いました。

(2) 地方における「地震災害による被災者父母保証人へのお見舞い等

平成16年の新潟県中越地震以降、各地で起きた地震災害では、それぞれ、お見舞金を贈呈しました。

また、平成23年の東日本大震災では、甚大な被害に対する「学習院東日本大震災義援金」に100万円を募金するとともに、罹災した学生に対して生活支援金を支給しました。

さらに、近年多発している大規模自然災害に対して、「父母会からの贈呈金に関する内規」を改正し、柔軟に対応できるようにしております。

(3) 「オール学習院の集い」への協力

恒例の「オール学習院の集い」に対して、学校法人へ寄付をすると共に、常任幹事の方々には当日の運営にご協力いただき、「共催」の役目を務めております。

(4) 大型物件の寄贈及び寄付

(平成23年以降)

- ・幼稚園へステンレス製オリジナル2連登り棒を寄贈(平成23年)
- ・各学校(大学・幼稚園)へ災害時整備計画に基づく備蓄品等を寄贈(平成24年)
- ・(女子大学用備蓄品として、アルファ米2,100食及びサバイバルパン2,016缶を寄贈)
- ・大学西5号館1階学生ホール内設置の椅子188席を寄贈(平成26年)
- ・輔仁会館前噴水広場用屋外チェア16脚を寄贈(平成27年)
- ・初等科図画室内設置の机9台、材料台4台、及び椅子36脚を寄贈(平成29年)
- ・女子中・高等科総合体育館の綴帳一式を寄贈(平成29年)
- ・中・高等科第2テニスコート人工芝化(オムニコート)工事への寄付(平成29年)
- ・各学校(大学、中・高等科、女子中・高等科、初等科)のAED新規設置への寄付(平成30年)
- ・女子大学テニスコート(人工芝)新設・整備への寄付(平成30年)
- ・幼稚園電動「ひさし」設置工事費用の一部助成(平成30年)
- ・沼津 伝馬船(木造和船)一艘を寄贈(令和元年)
- ・中等科・高等科第2体育館の空調設置工事費用の一部助成(令和元年)
- ・百周年記念会館設置の演奏用椅子

購入費用の一部助成(令和2年)

・初等科「図画室」工作台天板カバーほか寄贈(令和2年)

・女子大学のAED新規設置への寄付(令和2年)

・中等科・高等科第1体育館の空調設置工事費用の一部助成(令和2年)

・大学体育館の空調設置工事費用の一部助成(令和2年)

・大学「テント9張り寄贈(令和3年)

・各学校のアルコールドレスベンサー設置への寄付(令和3年)

・女子中・高等科第2体育館空調設備工事の一部助成(令和3年)

・初等科校庭屋外ベンチを寄贈(令和4年)

・大学「東1号館」什器備品・設備費用の一部助成(令和5年)

・大学国際センター学生ラウンジ用テーブル・椅子を寄贈(令和5年)

・女子中・高等科中庭用屋外ベンチ、本館3階ルーフトラス用テーブル・椅子を寄贈(令和5年)

・女子大学互敬会館ラウンジチェア3脚を寄贈(令和6年)

・MOS(マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト)資格受験料の一部助成(平成28年・継続中)

おわりに

以上のように、学習院父母会は直接あるいは間接的に、学習院の経営、教育に参画し支援を行っている組織です。皆様と共に、これからも学習院を支え、より良い学校にする努力を続けて参りたいと存じます。

父母会本部事務局は目白キャンパスの学習院創立百周年記念会館2階にございます。

(ご用の方は遠慮なく、ご連絡下さい。)

開室時間 月・金 9時～17時
TEL&FAX 03-3986-3226

草上会は、学習院女子大学（大学院含む）・学習院女子短期大学出身者による同窓会です。学習院全体の同窓会として桜友会がありますが、その一部会となります。

1959(昭和34)年11月に発足し、当時、学習院長であり、女子短期大学学長でもいらした安倍能成先生がわだかまりのない集いになるよう、マネの《草上の昼食》にちなみ会名をつけてくださいました。現在では、事務局を互敬会館3階に置き、会員の納める維持運営費に支えられ、会則に掲げる本会の目的「出身者の親睦、向上をはかり、母校の発展に寄与し、社会に貢献する」に則り活動を行っています。会員数も3万人を超え、20代から90代までの幅広い年齢層の集う会となりました。

早ければ令和8年4月より、学習院女子大学が学習院大学の一学部として統合されることが予定されています。草上会は、今後も女子大学・短期大学出身者の同窓会として活動してまいります。統合後の学習院大学国際文化交流学部の学生の皆さんに対しても、同じ戸山キャンパスで学んだ者として、交流を重ね、支援を続けてまいります。



歴代学長の色紙が並ぶ草上会ロビー

2024年度の主な活動

4月6日

互敬会館1階メインホールほか

ウェルカムパーティーでは、新入学生へのお祝いと歓迎の気持ちを込め、草上会の資料とともにお茶やお菓子を差し上げました。



ウェルカムパーティー

雅祭協賛

4月14日

目白キャンパス

鬱金桜、御衣黄など珍しい桜がまだ残る中、恒例の「花見茶屋」と「ヨーヨー釣り」で参加いたしました。桜まんじゅうや校章入りマドレーヌなどをお茶とともに用意した花見茶屋には、卒業生はもちろん、先生方やご家族と一緒にの在校生など多くの方々にお立ち寄りいただきました。また、お子様方に人気のヨーヨー釣りは、用意した2000個が予定時刻を待たずになくなってしまふほどの大盛況でした。



ヨーヨー釣り

オール
学習院の
集い

6月29日

総会・
懇親会

リーガロイヤルホテル東京

第66回総会・懇親会を120名出席のもと開催いたしました。会食の時間には常陸宮妃華子殿下のご臨席を賜り、ご来賓や会員の皆様と和やかな時を過ごすことができました。会場内には活動の写真を展示し、学習院オリジナル商品の販売をいたしました。また、ボランティア活動の一部として、災害支援金募金の受付、使用済み切手や外国コインの受付を行いました。

講演

歌舞伎俳優 中村鷹之資丈「歌舞伎の未来」

歌舞伎界の若きホープ、学習院ご出身の中村鷹之資丈のご講演は、長唄「七福神」の舞踊から始まりました。その後、変わることのない伝統と時代に合わせた変化、そのバランスをとりつつ発展してゆく歌舞伎の可能性と未来について、舞台写真を投影しながらお話しくださいました。

2025年度は、6月29日に、1987年に学習院女子短期大学英語専攻Ⅱ類を卒業され、脚本家としてご活躍の橋部敦子氏を講師にお迎えし、リーガロイヤルホテル東京にて開催予定です。



長唄「七福神」の舞踊を披露する中村鷹之資丈

毎月第2水曜日

互敬会館3階草上会洋室

ボランティア

新宿区社会福祉協議会(社協)に寄付するフキンやバザー販売用の小物を作製しています。和祭時に開催したバザーの売上金より社協に車椅子3台を寄贈いたしました。また、使用済み切手と外国コインを回収し、日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)に寄付をいたしました。そのほか、総会などの折に会員より寄せられたご厚意を災害支援金として被災地に寄付をしています。



新宿区社会福祉協議会へ車椅子等の寄贈(2023年度)

10月12・13日

和祭参加

互敬会館3階草上会

「草上会バザー」「サロン草上会」で参加いたしました。バザーには、会員手作りのアクセサリやボランティア活動で作製したサシェなども出品され、学校関係者、卒業生、学生だけでなく学外の方など大勢の皆様にご来場いただきました。卒業生のために設けたサロンは、ご友人やご家族と一緒に過ごした方々などで終始和やかな雰囲気に包まれました。中には卒業後はじめて母校を訪れた方もいらっしゃいました。



草上会バザー

茶の湯を
学ぶ

遠州茶道宗家道場
を訪ねる

11月8日

遠州茶道宗家／レストラン「ラリアンス」

会員親睦の一環として、大名茶人小堀遠州を流祖とし、440年の歴史を持つ遠州流茶道宗家の道場にて茶道体験を催しました。学習院ご出身の小堀宗実十三世家元のご講話の後、お席入りし、お茶とお菓子を頂戴いたしました。見事な床の設えや数々のお道具に加え、炉開きの月にあたりお家元自ら臼でお茶を挽く様子まで拝見させていただき、通常では体験することのできない静謐で貴重な時間を過ごすことができました。その後、近くにある神楽坂のレストラン「ラリアンス」で美味しいフランス料理を堪能し、笑顔あふれる和やかな交流の1日となりました。



遠州茶道宗家での茶道体験

詳しくは草上会ホームページをご覧ください
<https://www.gakushuin-ouyukai-branch.jp/soujoukai/>



01

ベトナム国家大学 ホーチミン市人文社会科学大学(ベトナム)との協定締結について

この度、学習院女子大学は、ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学(Vietnam National University Ho Chi Minh City, University of Social Sciences and Humanities)との学生交換を含む交流協定を締結いたしました。この協定は、学生の教育面での充実・発展を図ることを目的とし、協定書は英文を正文として、2024年6月17日付で発効いたしました。

同大学は、ベトナム政府直轄のベトナム国家大学ホーチミン市校の構成大学の1つであり、1957年に創立されたベトナム南部の最高峰の文系総合大学です。29の人文社会科学系の学部があり、ホーチミン市内に2つのキャンパスを持っています。日本学部では約850名の学生が日本語および日本文化などについて学んでおり、活発な交流が期待されます。



02

一般社団法人尚友倶楽部助成金事業 第6回 学習院女子大学長杯 留学生日本語スピーチコンテスト

令和6年12月7日(土)、一般社団法人尚友倶楽部助成金事業として、「第6回 学習院女子大学長杯 留学生日本語スピーチコンテスト」を開催いたしました。

コンテストでは11の国と地域出身の15名(韓国、スリランカ、タイ、台湾、中国、ベトナム、ペルー、ポーランド、マレーシア、ミャンマー、モンゴル)がテーマに沿ってスピーチを行い、会場からは惜しみない拍手が送られていました。地元商店会「明和会」からは副会長が審査員に加わってくださり、地域との連携をより深めました。



また、審査中に会場では本学課外活動団体「箏曲部」および「ぎもの文化部」による発表が行われ、来場者が熱心に観覧する様子が見られました。箏曲部が交流会中に実施した箏演奏体験にも多くの方が参加し、日本文化への関心の高さが感じられました。

コンテスト後の交流会にはコンテストに出場した学内外の留学生に加え、本学の留学生・日本人学生・教職員、日本語学校の生徒・教職員も参加し、活発な交流が行われました。

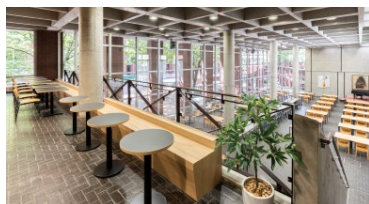
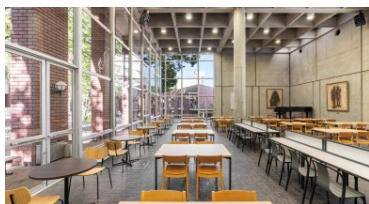
03

令和6年度 学習院女子大学 学生表彰 表彰者一覧

標記の件について、以下の団体および個人の方が表彰されました。

個人/団体	推薦候補団体 および推薦候補者	応募理由
個人	木村 美羽	2024年ラクロス女子20歳以下日本代表に選出され、2024 World Lacrosse Women's U20 championshipで3位入賞し、銅メダルを獲得したため。
個人	山崎 日菜子	様々な地方に足を運び、第一次産業の課題となっている地方の農業の人手不足解消に貢献し、新聞『デーリー東北新聞』や広報誌『広報まつの』にインタビュー記事や活動内容が掲載されるとともに、国内外でボランティア活動を行ったため。
団体	チアリーダー部	第36回全日本学生チアリーディング選手権大会 DIVISION② 応援団部門において、学習院大学同女子大学・A (SPARKS・A)が優勝し、学習院大学同女子大学・B (SPARKS・B)が第3位入賞したため。
団体	書道部	第33回全国書道展・全国教育書道展において、9名が入賞したため。(全日本書写書道教育連合会理事長賞、栃木県教育委員会教育長賞、宇都宮書道学校理事長賞、宇都宮書道学校校長賞、宇都宮市教育委員会教育長賞、NHK宇都宮放送局長賞、エフエム栃木社長賞、推薦・特選)

互敬会館のリニューアルについて



2024年9月に、互敬会館1階メインホール・ティールーム、2階ラウンジの家具の入れ替えが行われました。混雑を緩和し、各座席の稼働率が上がるよう、個人席や二人席を増設し、より居心地よく、より魅力的な空間に新しく生まれ変わりました。

キッチンカー企画について

2024年9月26日から10月10日までの2週間に、期間限定でキッチンカーを誘致いたしました。クレープやチュロス、ジェラートなど、日ごとにお店店舗が変わり、昼休みには多くの学生で賑わいました。



「第37回オール学習院の集い」開催のお知らせ

本院では、毎年4月に、学習院父母会、学習院校友会及び常磐会のご協力を得て「オール学習院の集い」を開催し、学生・生徒・児童・園児・教職員は勿論、卒業生・父母の方々、更には近隣にお住まいの方々の親睦と交流の場としてご好評を頂いております。

この催しは、春の一日、学習院のシンボルである桜の下、世代を超えて親睦と交流の輪を広げ、学習院との絆をより深めていただくとの趣旨で実施しているものです。

女子大学の学生団体も参加しますので、皆さんのお越しをお待ちしております。

- 日 時 令和7年4月13日(日)
午前9時30分～午後4時00分(雨天決行)
- 会 場 学習院目白キャンパス(豊島区目白1-5-1)

※ キャンパス内は禁酒といたします。酒気帯び状態での入構もご遠慮ください。
※ 詳細は学校法人学習院のホームページ
(<https://www.gakushuin.ac.jp/>)をご覧ください。

令和8(2026)年4月付
学習院大学新学部・新研究科
設置を認可申請中
～学習院女子大学の学習院大学
への統合～

学校法人学習院は、同法人内の学習院女子大学及び学習院女子大学大学院(学長:大桃敏行)を学習院大学及び学習院大学大学院(学長:遠藤久夫)に統合し、学習院大学及び学習院大学大学院の新たな学部・研究科として「国際文化交流学部」及び「国際文化交流研究科」を設置することを計画し、準備を進めています。令和7年(2025)年3月に、文部科学省へ設置認可申請を行う予定です。

※設置認可申請中であり、今後、内容が変更になる可能性があります。



日本を学ぶ、
世界を知る、
英語で伝える。



学習院女子大学 事務統括部

〒162-8650 東京都新宿区戸山3-20-1

TEL 03-3203-1906 FAX 03-3203-8373

URL <https://www.gwc.gakushuin.ac.jp>